

# 最近の経済動向

平成26年4月号

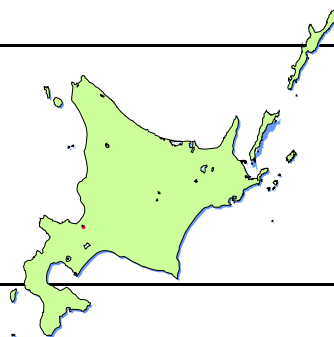
(平成26年2月の経済指標を中心として)

本道経済は、緩やかに持ち直している

## 北海道の景気概況

P 1 ■企業のみなさまから伺いました

P 4 ■景気動向指数



## 需要動向（消費・投資）

P 5 ■個人消費 ~ 持ち直している

P 7 ■住宅建設 ~ 弱い動きとなっている

P 8 ■公共工事 ~ 増加傾向となっている

P 8 ■観光 ~ 緩やかに回復している

## 企業活動と雇用、物価等

P 9 ■生産活動 ~ 持ち直しの動きがみられる

P 10 ■電力 ~ 電力需要、大口電力とも前年を上回った

P 12 ■輸出入 ~ 輸出額は前年を上回ったが、輸入額は前年を下回った

P 13 ■企業倒産 ~ 件数、負債総額とも前年を下回った

P 14 ■雇用 ~ 厳しさは残るものの、緩やかに改善している

P 17 ■物価 ~ 消費者物価指数は前年を上回った

## 地域、全国の経済動向

P 18 ■地域の経済動向

P 24 ■全国の経済動向

編集・発行：北海道経済部経済企画室参事（経済調査）

TEL 011-204-5139

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/>

## ■ 企業のみなさまから伺いました

### ◆ 百貨店 （3月）

---

#### 【消費税増税前の駆け込み需要で売上げが大きく増加した】

消費税増税前の駆け込み需要の動きとしては、時計や宝飾、ブランド品などの高額品の売上げの伸びが特に大きかった。

また、フォーマルウェアや留め袖、紳士オーダースーツ、五月人形など必要になるものを先に購入する動きや、化粧品、靴下・肌着などにまとめ買いがみられたほか、寝具ではタオルケットやシーツ、食料品では日持ちのするGroceryの売上が好調だった。

## ◆スーパーマーケット（3月）

---

### 【消費増税前の駆け込み需要で売上は大幅に増加】

消費増税前の駆け込み需要の効果もあり、消費期限の長いカップ麺や食用油、味噌、砂糖等の加工食品やティッシュペーパー、トイレットペーパー、洗剤等の日用品の売上げが好調で、売上は前年を大幅に上回った。

### 【生肉の売上が大きく伸長】

部位毎の割引やブロックサイズでの拡販を実施し、消費増税前の駆け込み需要も見込んだ生肉の冷凍保存方法の周知を行ったこと等から、豚肉、鶏肉、牛肉、ラム肉等の生肉の売上が大きく伸長した。

## ◆コンビニエンスストア（3月）

---

### 【消費税増税駆け込み需要の影響で好調】

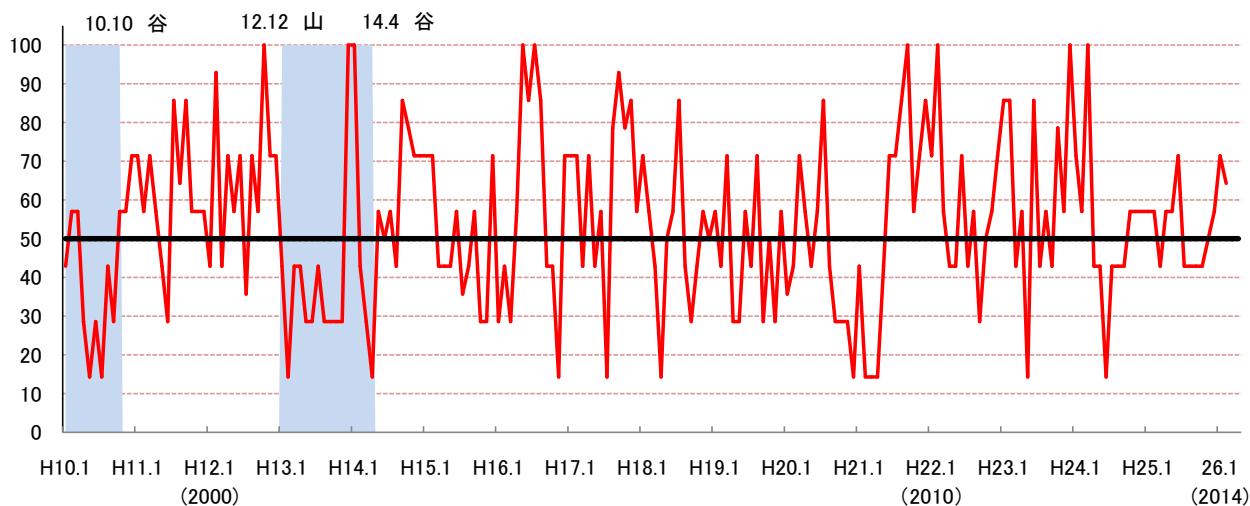
昨年と比べて平均気温は低く推移したものの、来店客の動きに大きく影響するような悪天候が少なく、天候による影響はあまり大きくなかった。

消費税増税に伴い、たばこやアルコールなど一部商品でカートン買い、ケース買いなどのまとめ買い需要が発生し、売上は前年同期を上回って推移した。

観光地の動向は、引き続きホテル等の稼働率が高く、観光地周辺での売上を押し上げている。

## ■ 景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		25/2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	26/1月	2月
先行系列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	-	+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	+	+	0	-	-	+	-	-	-	-	-
	生産指数(生産財)	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	+	+	+
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	新設住宅着工戸数	-	+	+	+	-	-	+	+	+	-	+	-	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	-	-	-	+	-	-	+	+	-	+	-
	企業業況判断D.I.	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-
	拡張系列数	3	3	5	5	3.5	4	4	6	4	5	5	4	3
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	42.9	71.4	71.4	50.0	57.1	57.1	85.7	57.1	71.4	71.4	57.1	42.9
一致系列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生産指数(鉱工業)	+	+	-	-	+	+	-	+	-	0	+	+	+
	出荷指数(生産財)	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	+	+	0
	大口電力使用量	+	-	+	+	+	-	-	-	+	+	-	-	-
	百貨店販売額(既存店)	-	+	+	+	+	-	+	-	+	-	-	+	+
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	拡張系列数	4	3	4	4	5	3	3	3	3	3.5	4	5	4.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	一致指数	57.1	42.9	57.1	57.1	71.4	42.9	42.9	42.9	42.9	50.0	57.1	71.4	64.3
遅行系列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	-	+	+	+	-	+	-	+	+	+	-	-
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	0	0
	消費者物価指数(総合)	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	+	-	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-
	生産指数(資本財)	+	-	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+	+
	拡張系列数	3	2	2	2	3	2	4	4	4	3	4	1.5	1.5
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
	遅行指数	60.0	40.0	40.0	40.0	60.0	40.0	80.0	80.0	80.0	60.0	80.0	30.0	37.5

(注) 1 北海道経済部経済企画室 試算。PIは速報値(以下同様)。

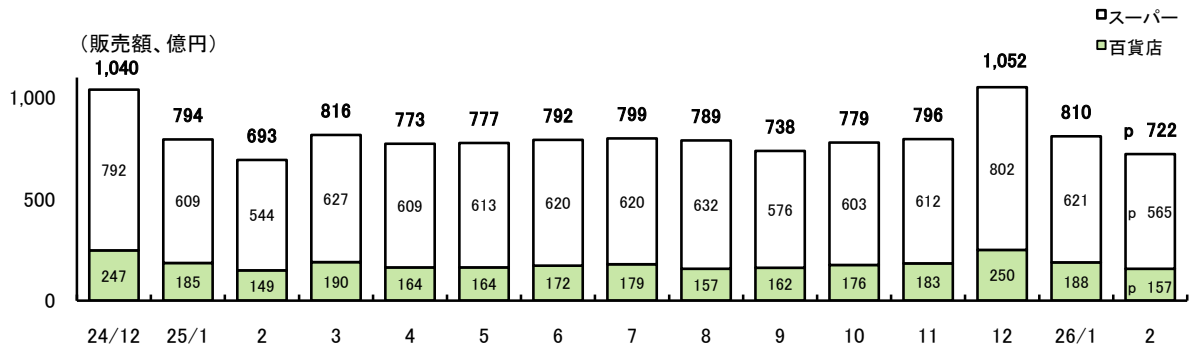
2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の高・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

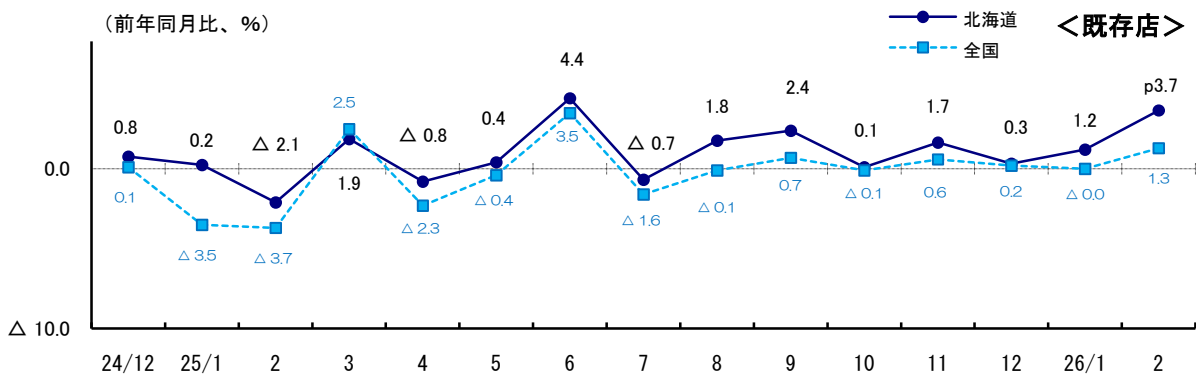
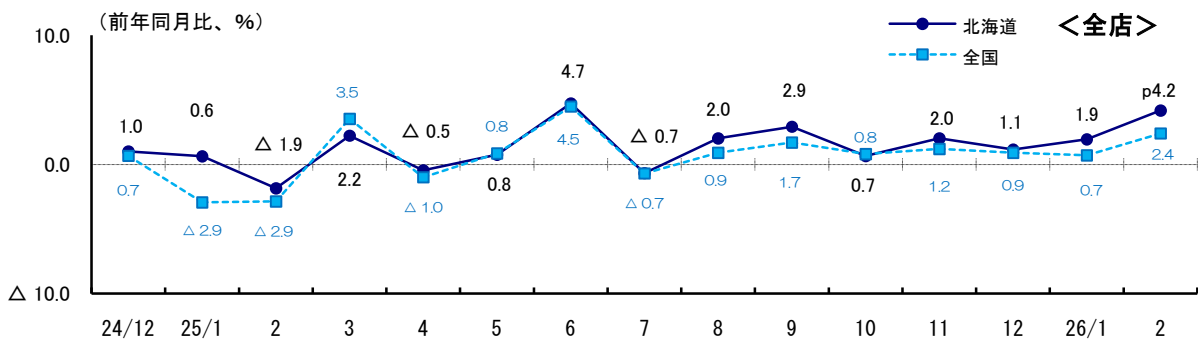
■個人消費～ 持ち直している

◆大型小売店販売額(2月)◆

全店ベースで722億円、前年同月比4.2%増と7か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同3.7%増と3か月ぶりに前年を上回った。

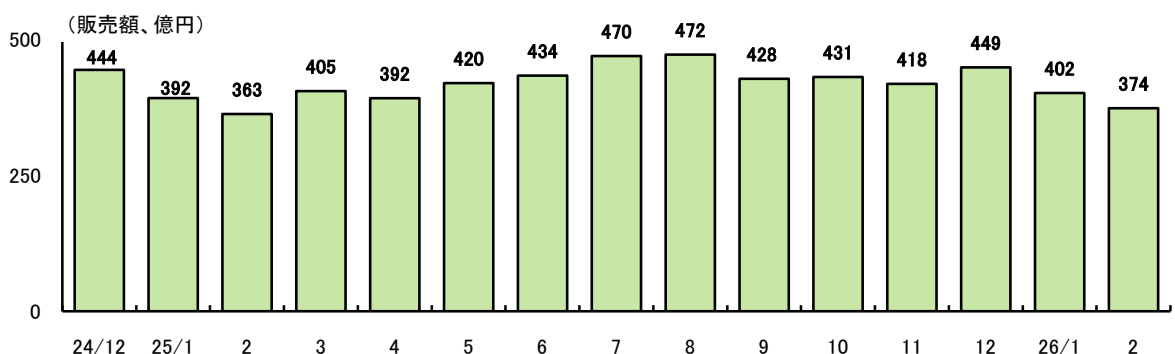


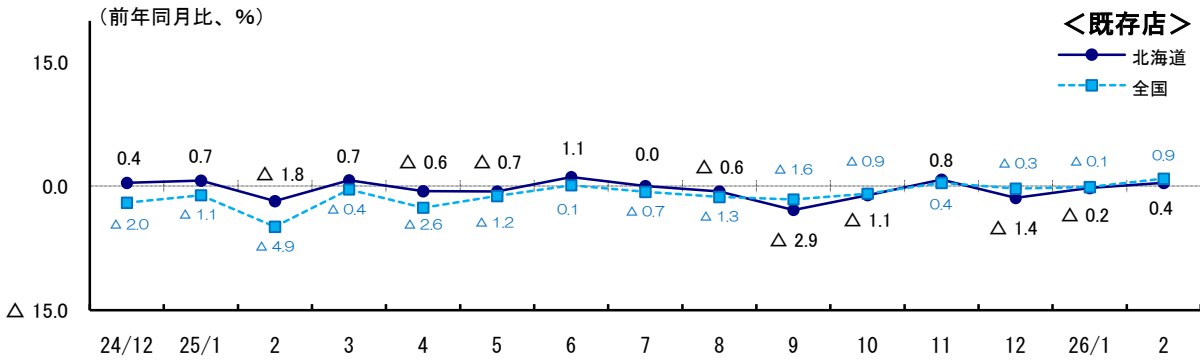
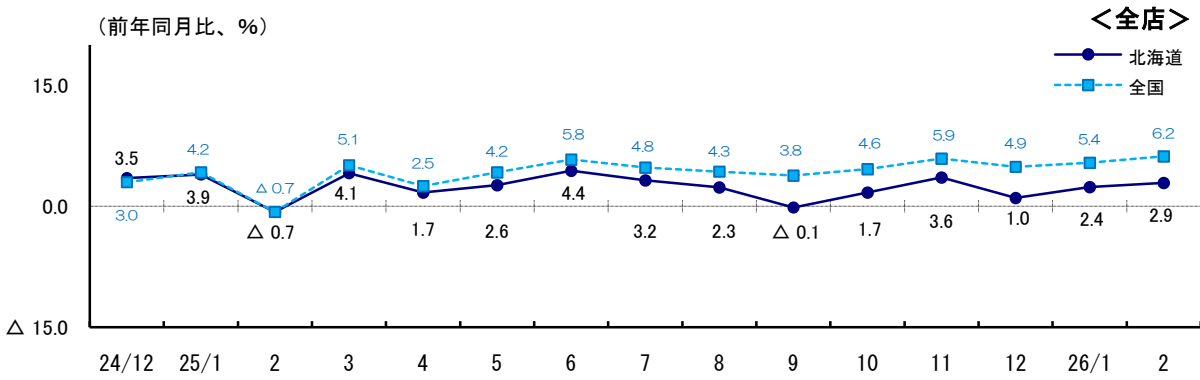
(注)pは速報値(以下同様)



◆コンビニエンスストア販売額(2月)◆

全店ベースで374億円、前年同月比2.9%増と5か月連続で前年を上回り、既存店ベースでは同0.4%増と3か月ぶりに前年を上回った。

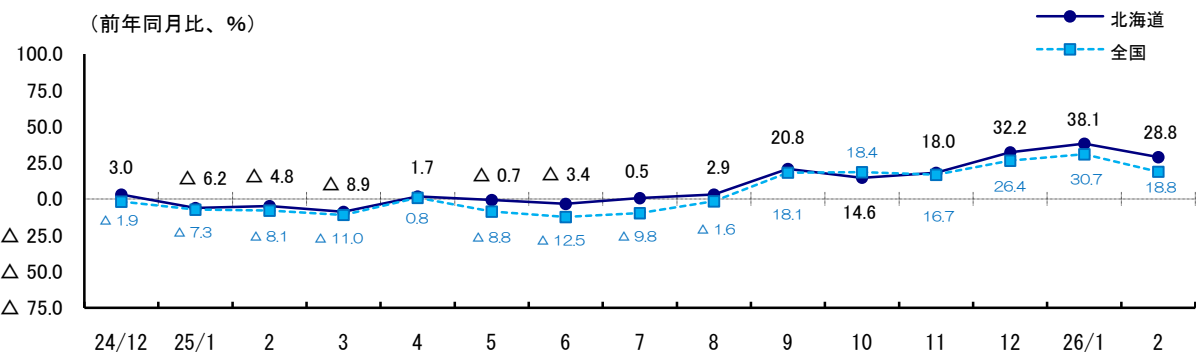
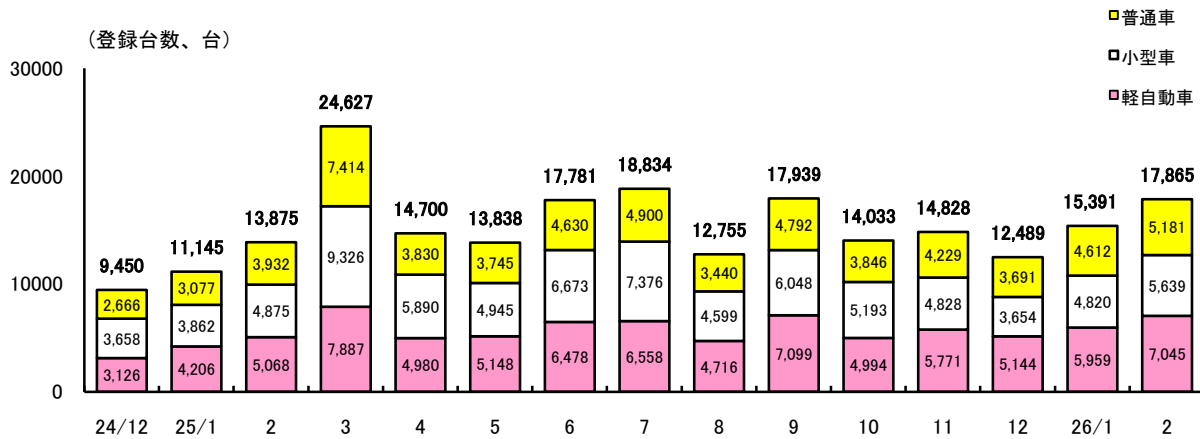




(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

◆新車登録台数(2月)◆

新車登録台数は17,865台、前年同月比28.8%増と8か月連続で前年を上回った。



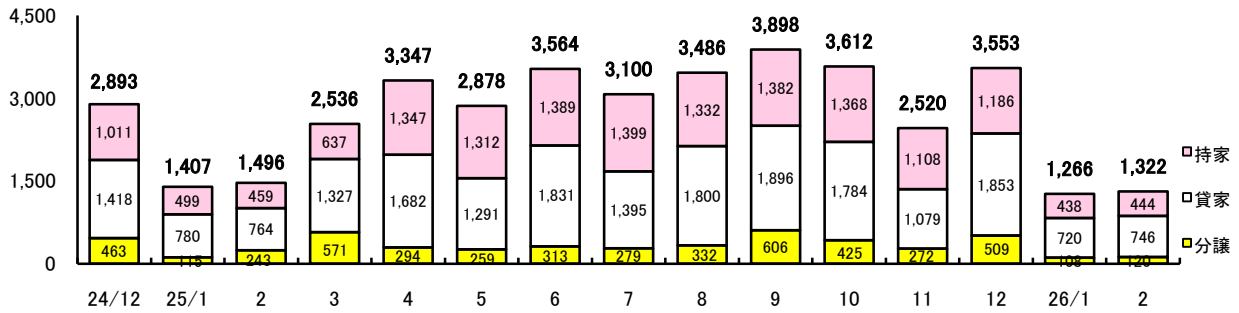
(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

## ■住宅建設～ 弱い動きとなっている

### ◆新設住宅着工戸数(2月)◆

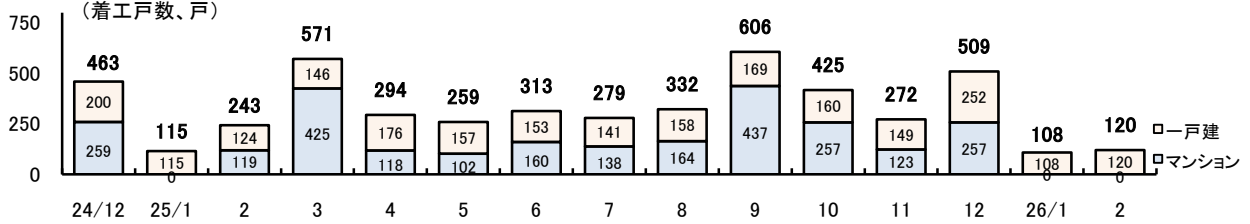
総戸数1,322戸、前年同月比11.6%減と2か月連続で前年を下回った。

(着工戸数、戸)



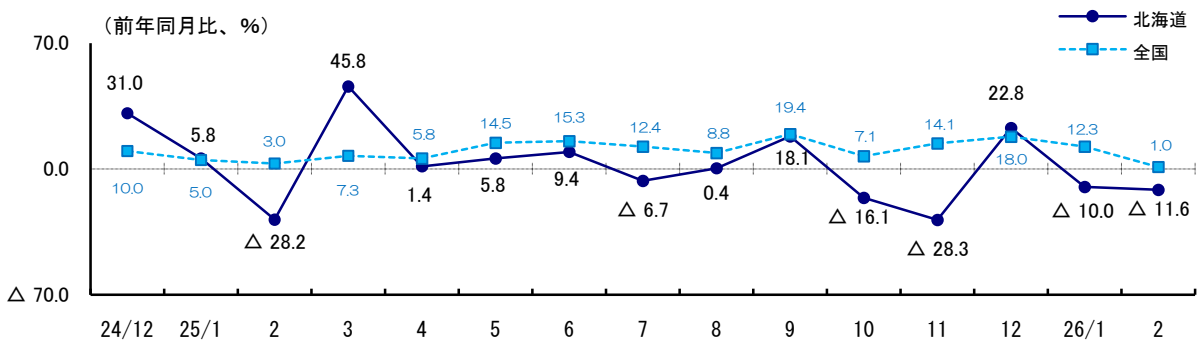
### ●分譲の内訳

(着工戸数、戸)



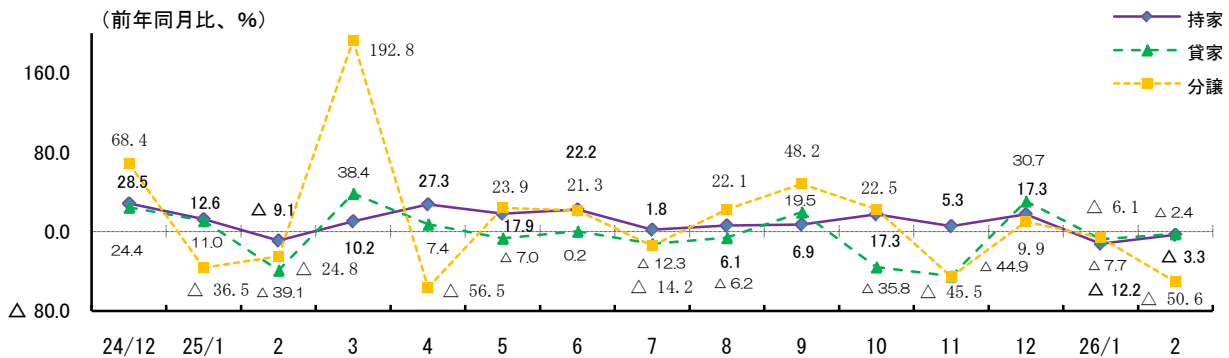
※ 長屋建てを除くため、内訳と合計は一致しない。

(前年同月比、%)



持家、貸家、分譲の全てで前年を下回った。

(前年同月比、%)



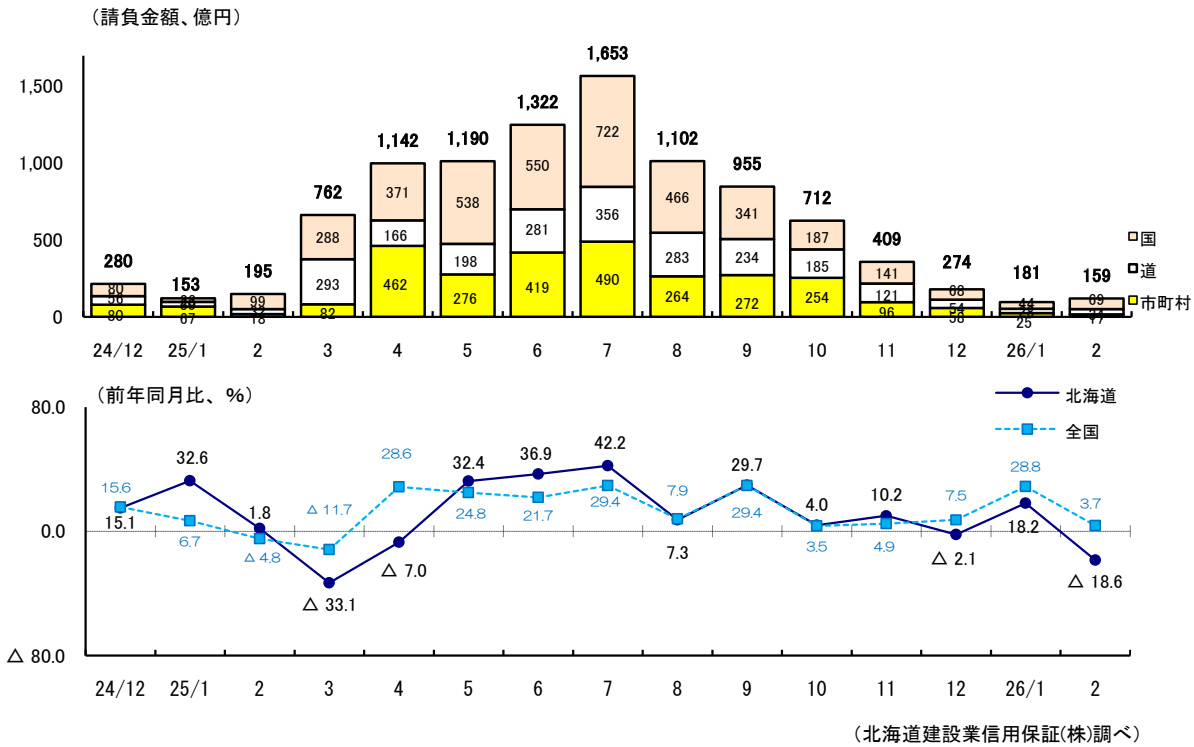
(国土交通省調べ)



## ■公共工事～ 増加傾向となっている

### ◆公共工事請負金額(2月)◆

請負金額は159億円、前年同月比18.6%減と2か月ぶりに前年を下回った。

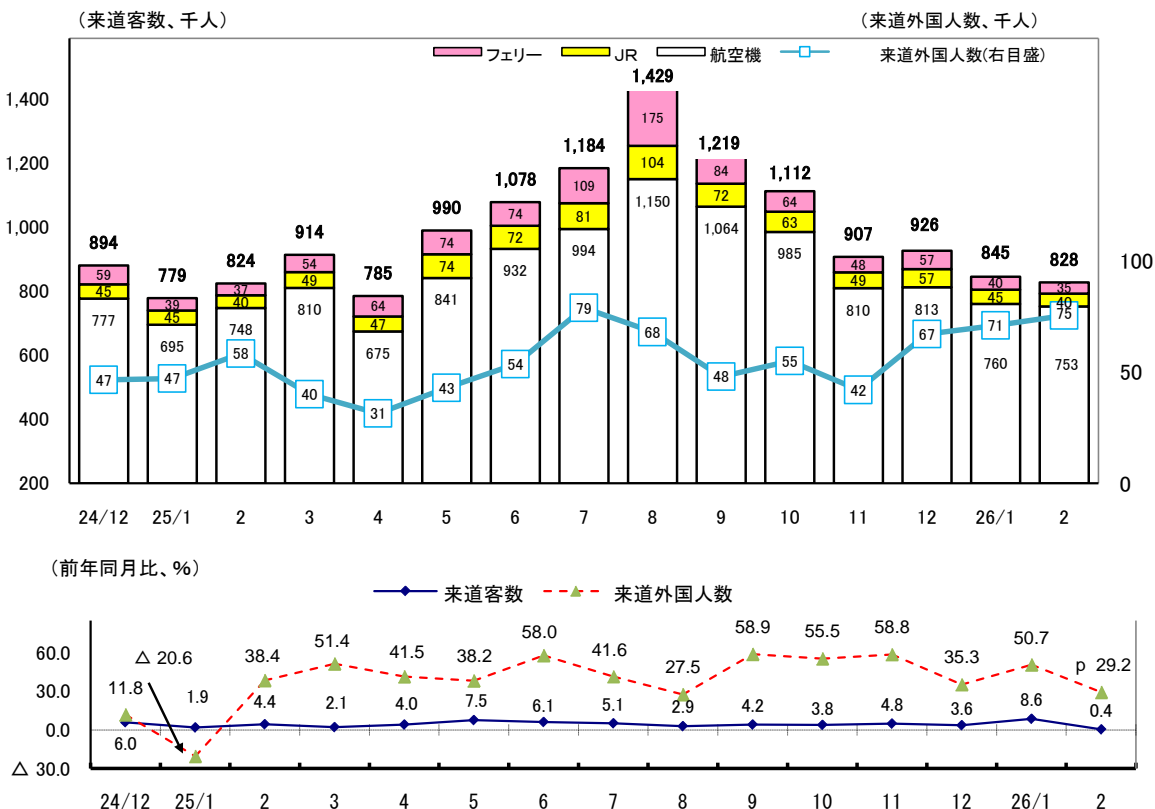


## ■観光～ 緩やかに回復している

### ◆来道客数(2月)◆

来道客数は83万人、前年同月比0.4%増と24か月連続で前年を上回った。

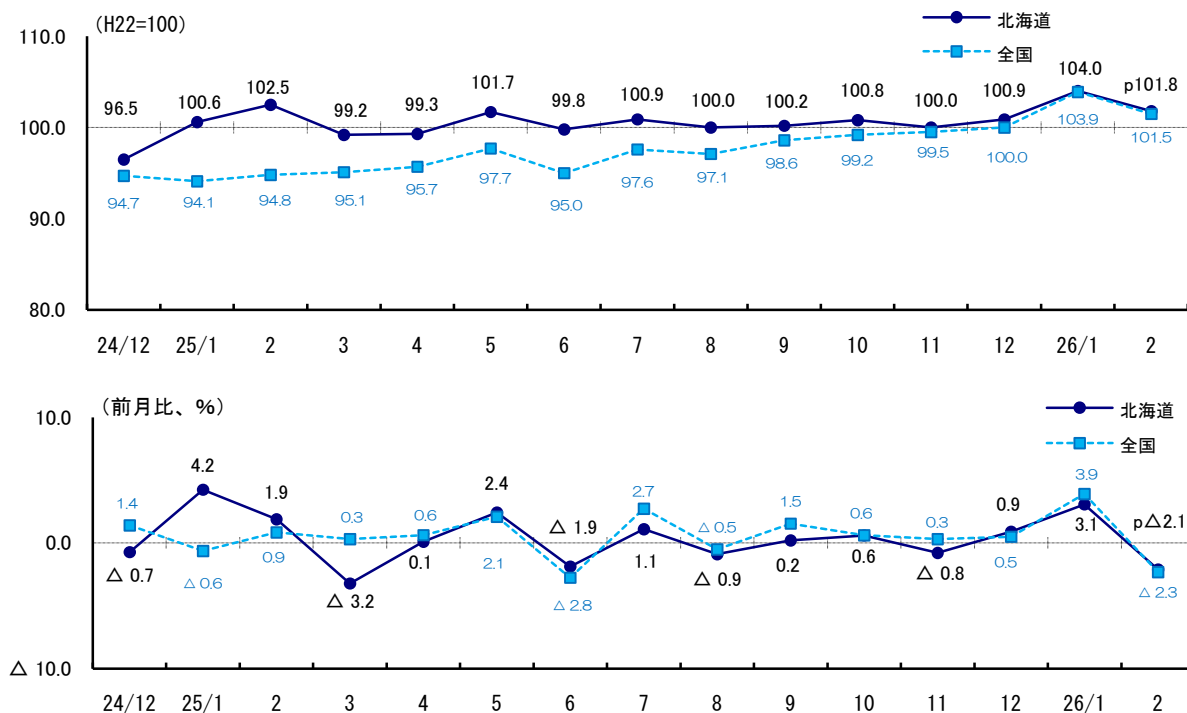
なお、本道に直接入国した外国人は7万5千人で、前年同月比29.2%増と13か月連続で前年を上回った。



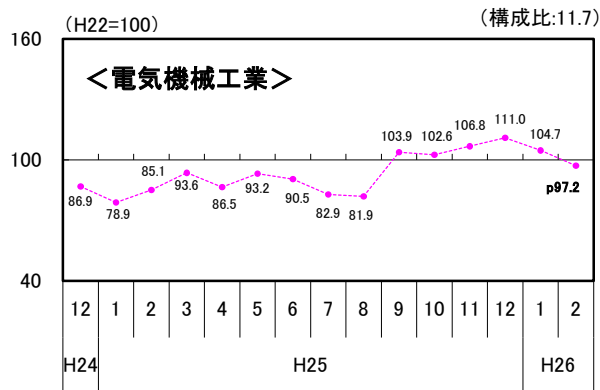
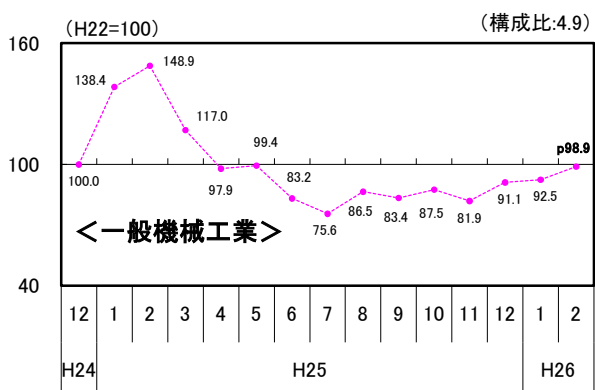
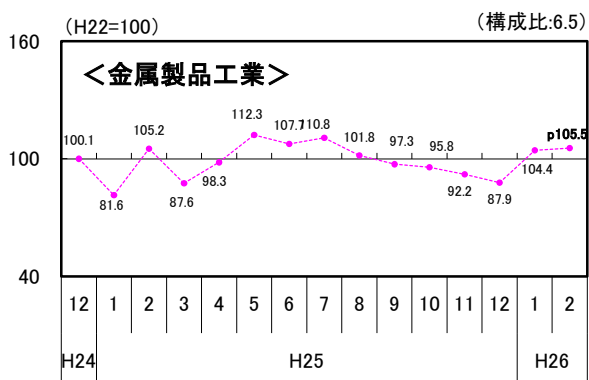
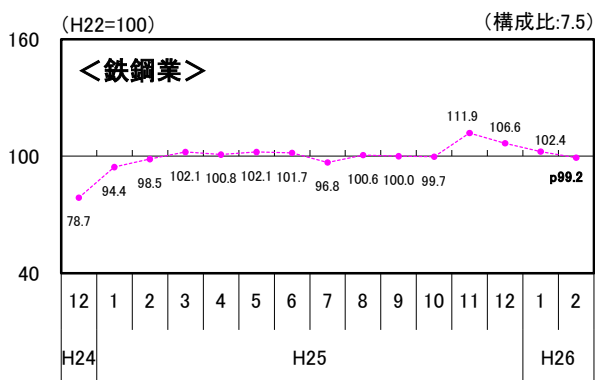
■生産活動～ 持ち直しの動きがみられる

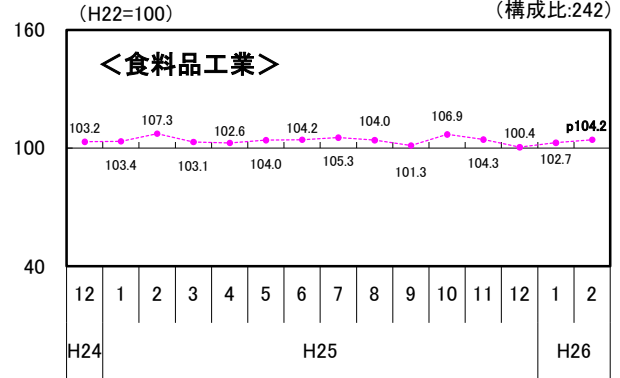
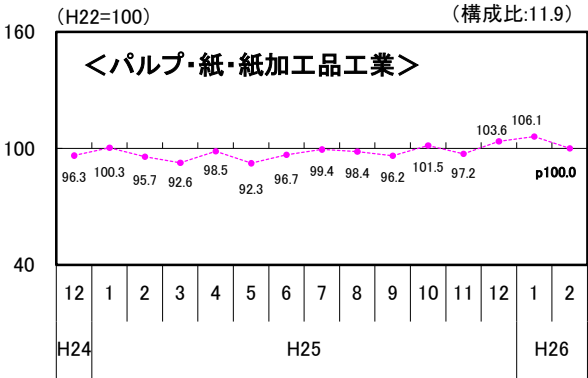
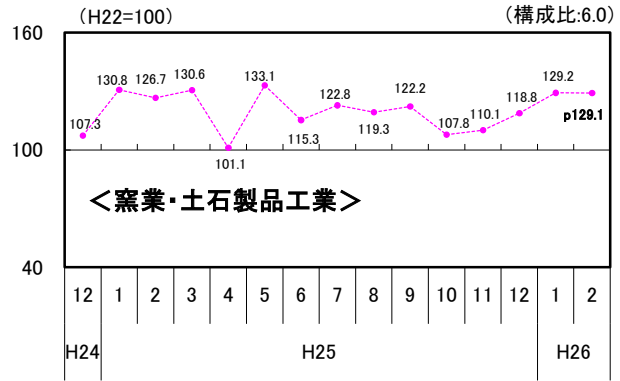
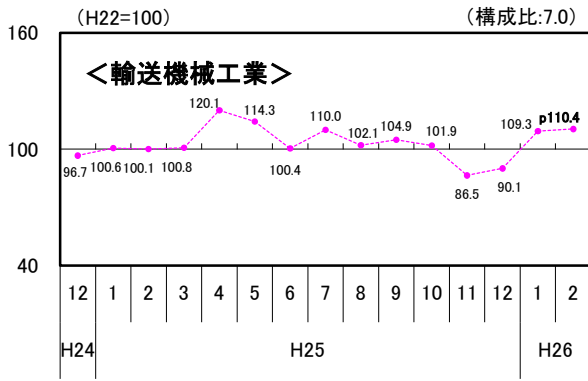
◆鉱工業生産指数（2月）◆

季節調整済指数で101.8、前月比2.1%減と3か月ぶりに低下した。



業種別では、季節調整済指数で、金属製品工業、一般機械工業、輸送機械工業、食品工業が上昇したものの、鉄鋼業、電気機械工業、窯業・土石製品工業、パルプ・紙・紙加工工業は低下した。



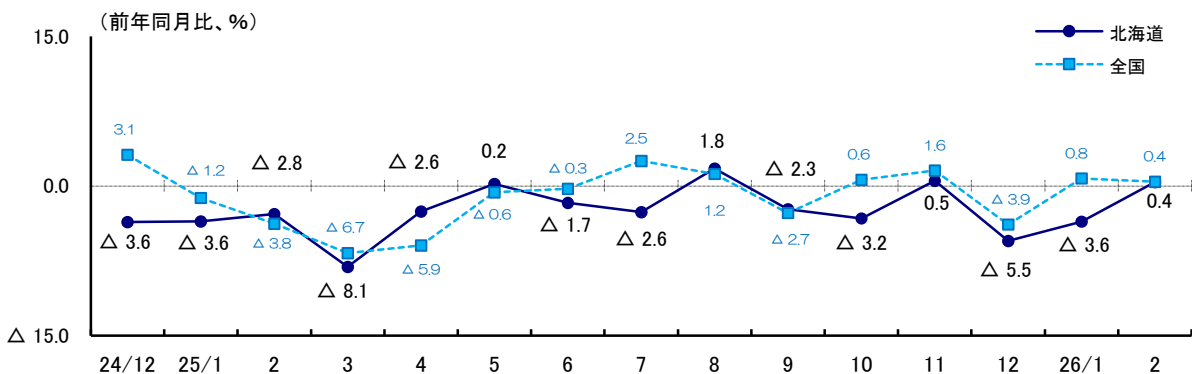
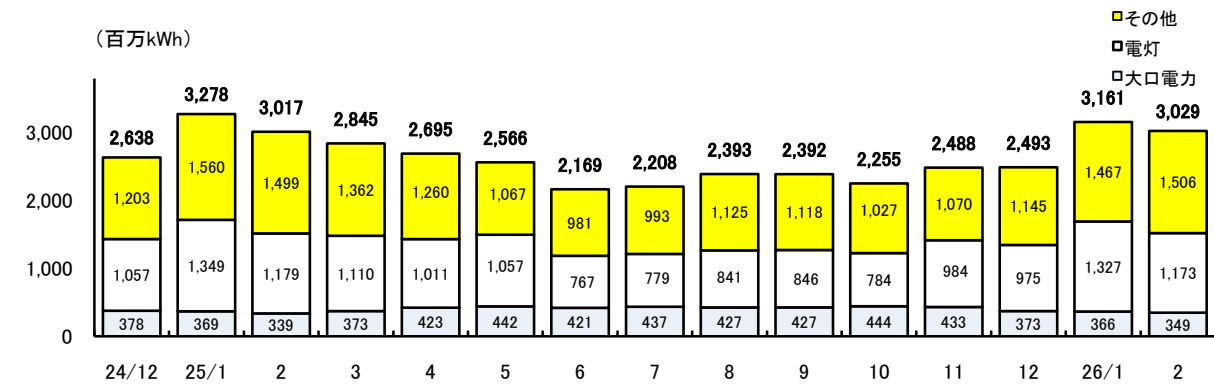


(北海道経済産業局、経済産業省調べ)

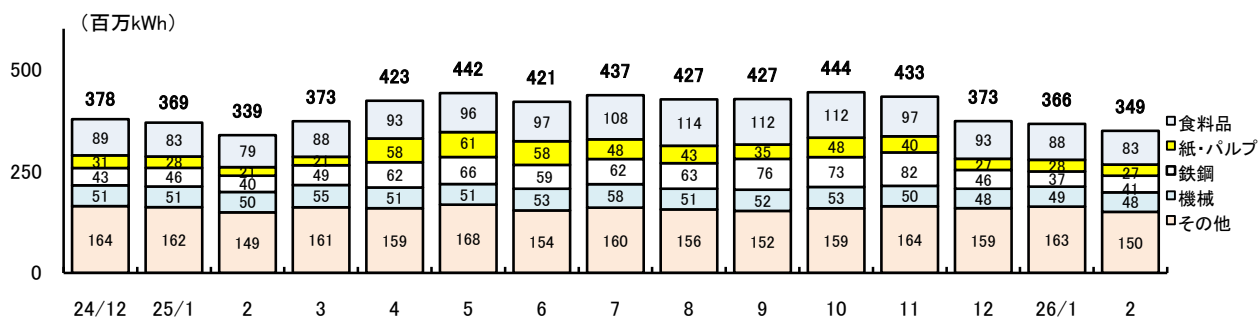
■ 電 力 ～ 電力需要、大口電力とも前年を上回った

◆ 電力需要 (2月) ◆

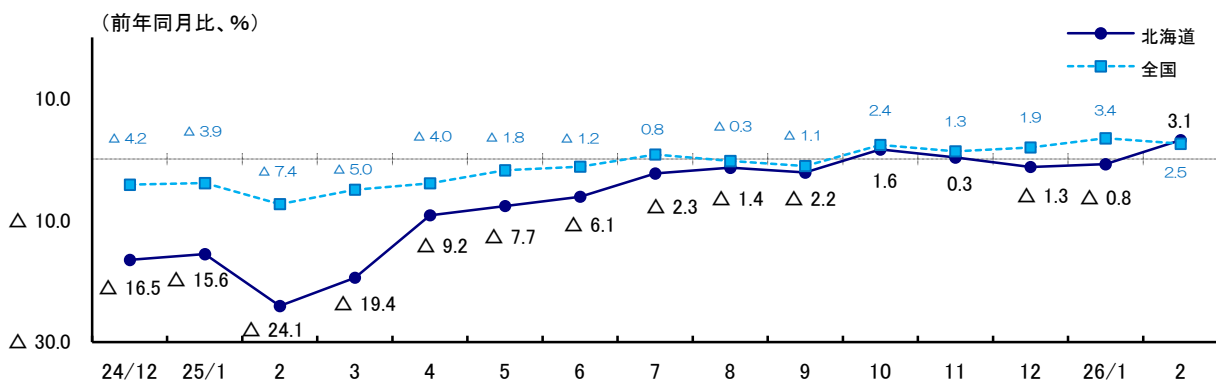
電力需要は3,029百万kWh、前年同月比0.4%増と3か月ぶりに前年を上回り、産業用需要の大口電力は349百万kWh、同3.1%増と3か月ぶりに前年を上回った。



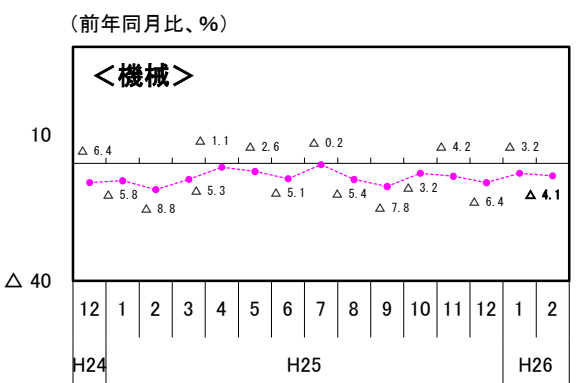
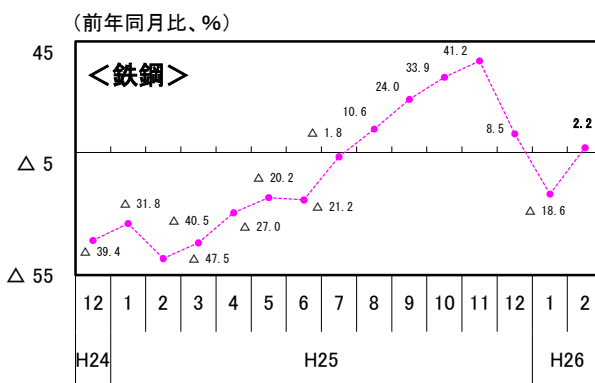
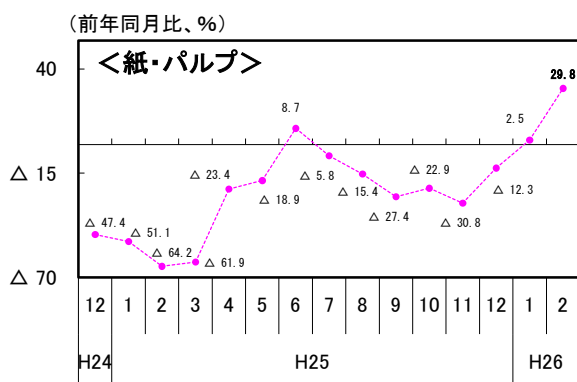
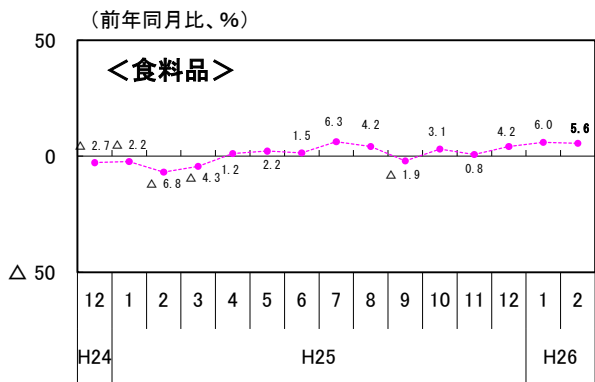
● 大口電力の内訳



● 大口電力の推移



業種別の大口電力では、食料品、紙・パルプ、鉄鋼が前年を上回ったが、機械は前年を下回った。

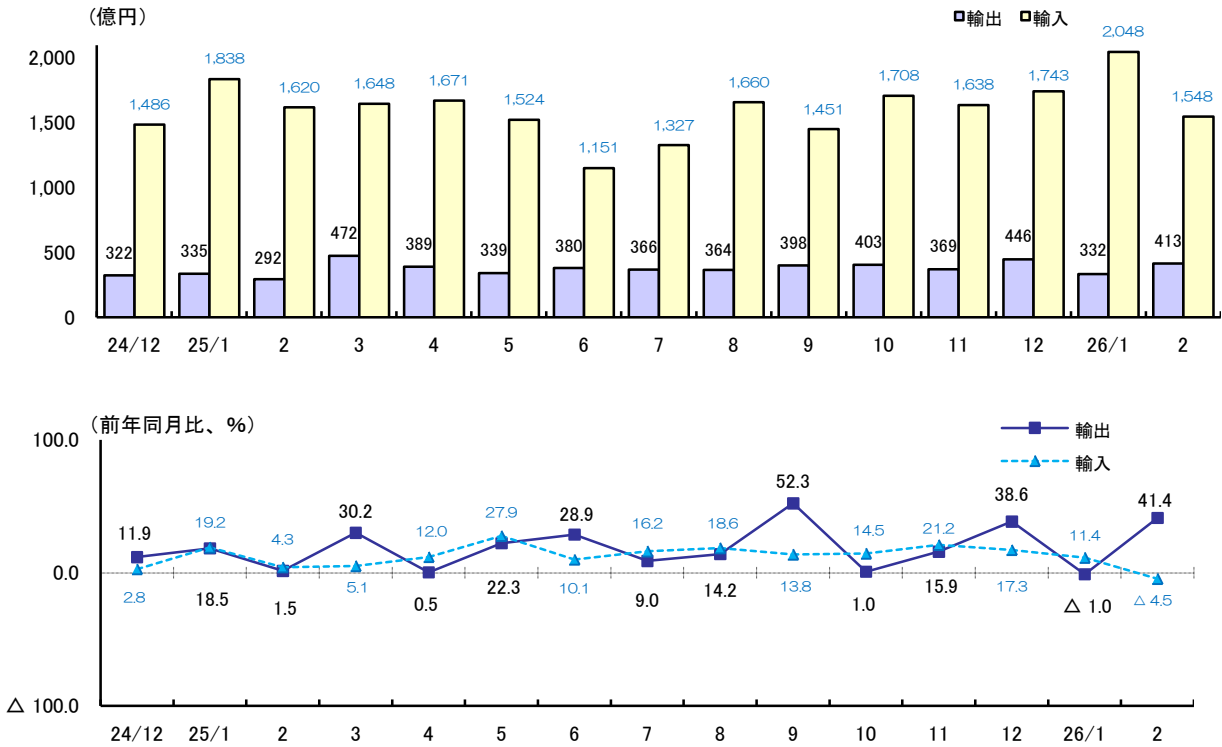


(電気事業連合会調べ)

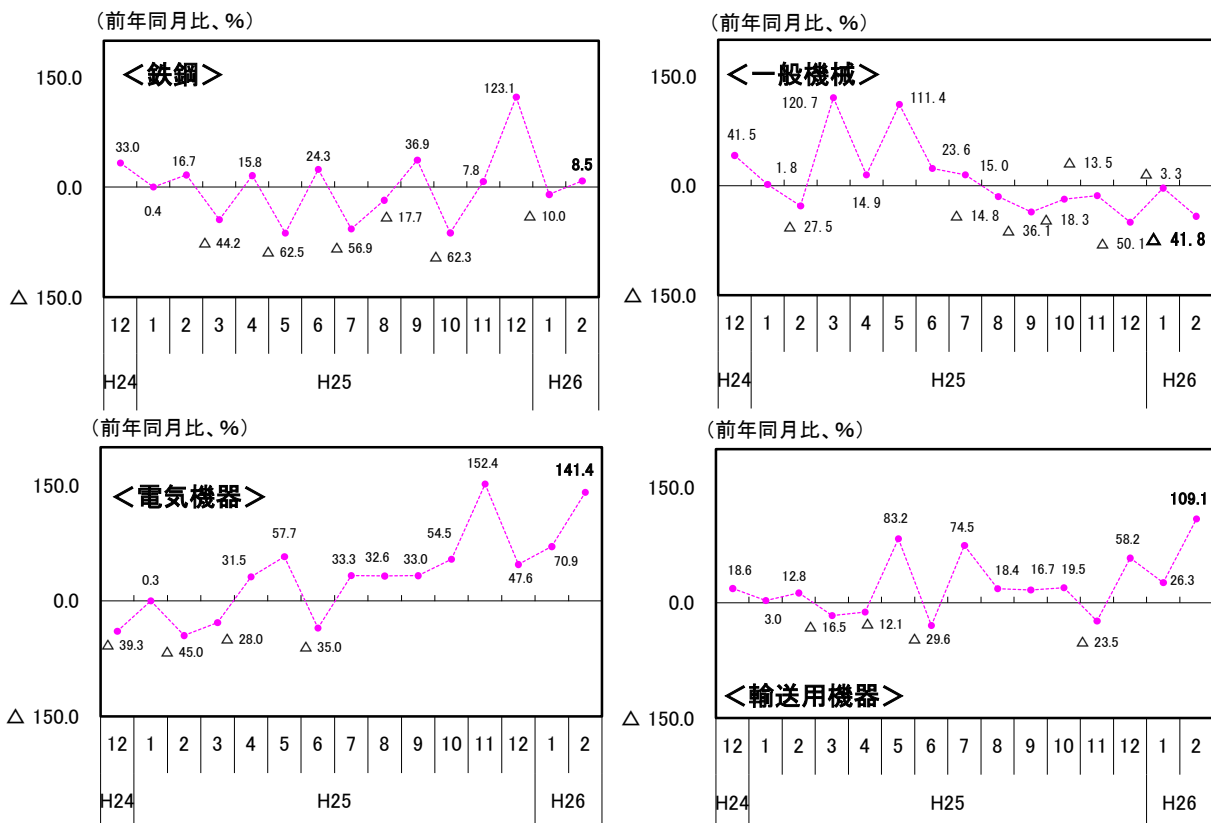
## ■輸出入～ 輸出額は前年を上回ったが、輸入額は前年を下回った

### ◆輸出入額（2月）◆

輸出額は413億円、前年同月比41.4%増と2か月ぶりに前年を上回り、輸入額1,548億円、同4.5%減と15か月ぶりに前年を下回った。



輸出品別では、鉄鋼、電気機器、輸送用機器が前年を上回ったが、一般機械は前年を下回った。

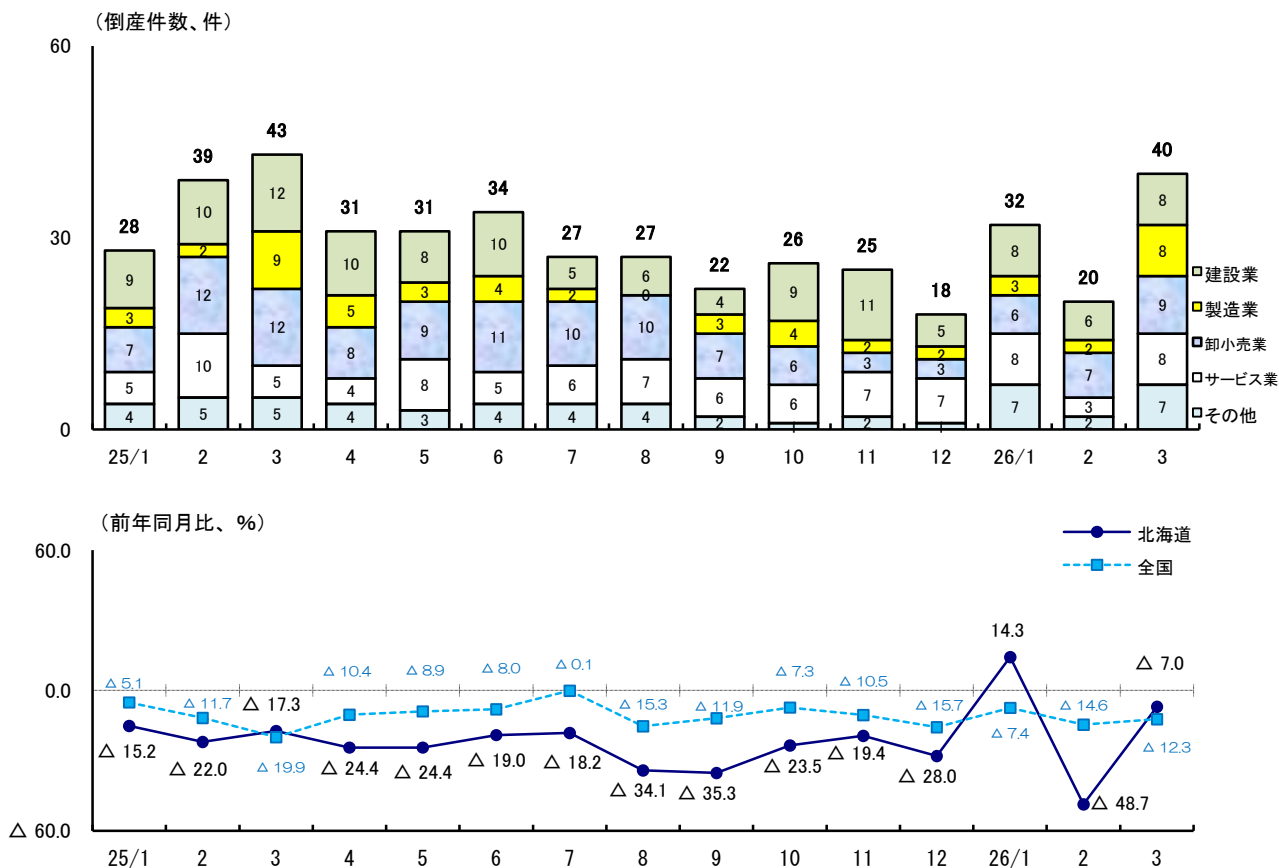


(財務省、函館税関調べ)

## ■企業倒産～ 件数、負債総額とも前年を下回った

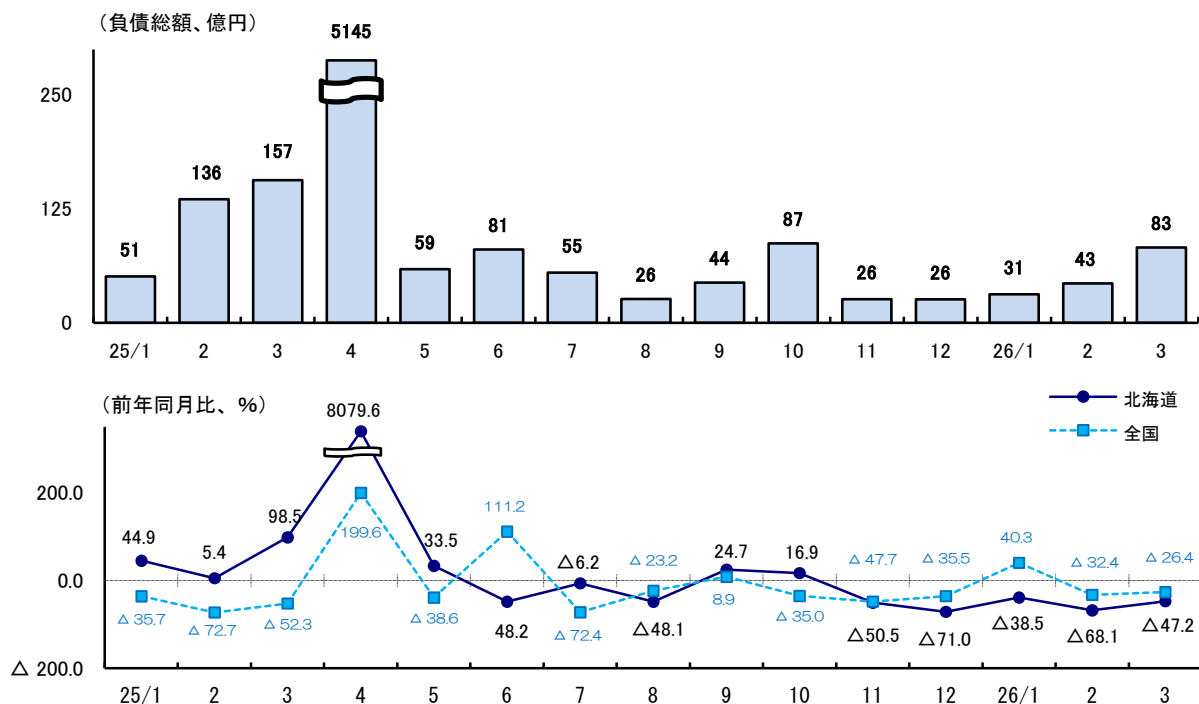
### ◆企業倒産件数（3月）◆

企業倒産件数は40件、前年同月比7.0%減と2か月連続で前年を下回った。



### ◆負債総額（3月）◆

負債総額は83億円、前年同月比47.2%減と5か月連続で前年を下回った。

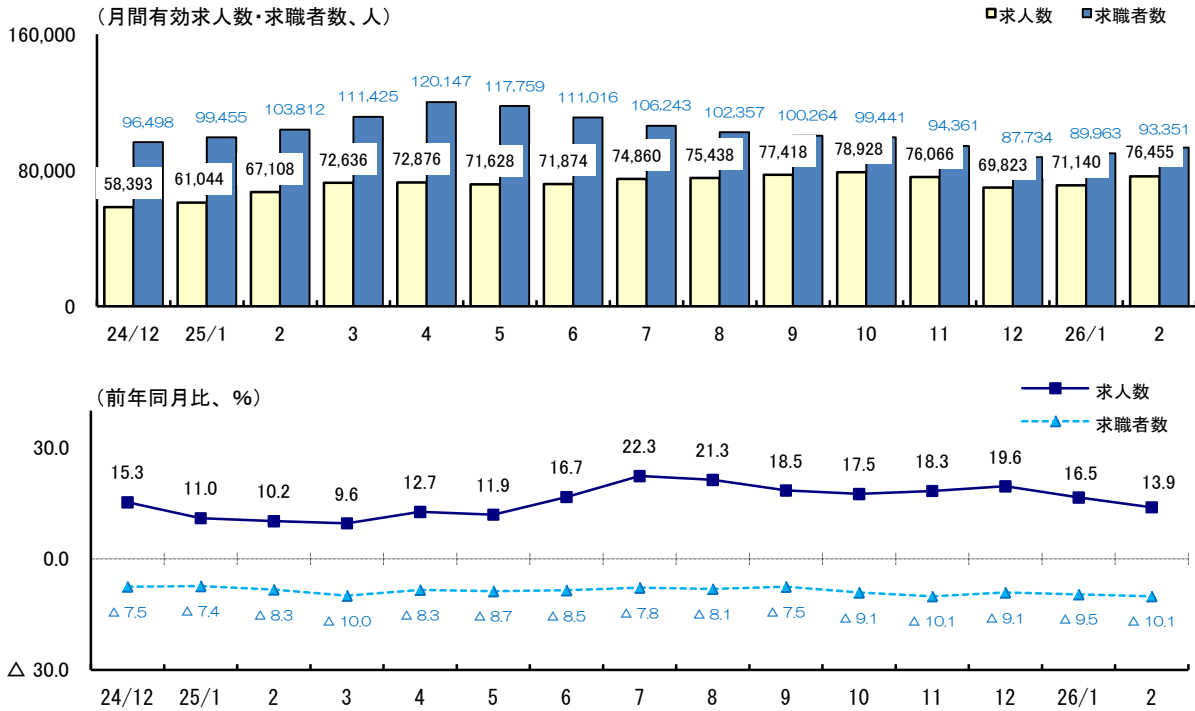


(東京商工リサーチ北海道支社調べ)

## ■雇 用 ～ 厳しさは残るものの、緩やかに改善している

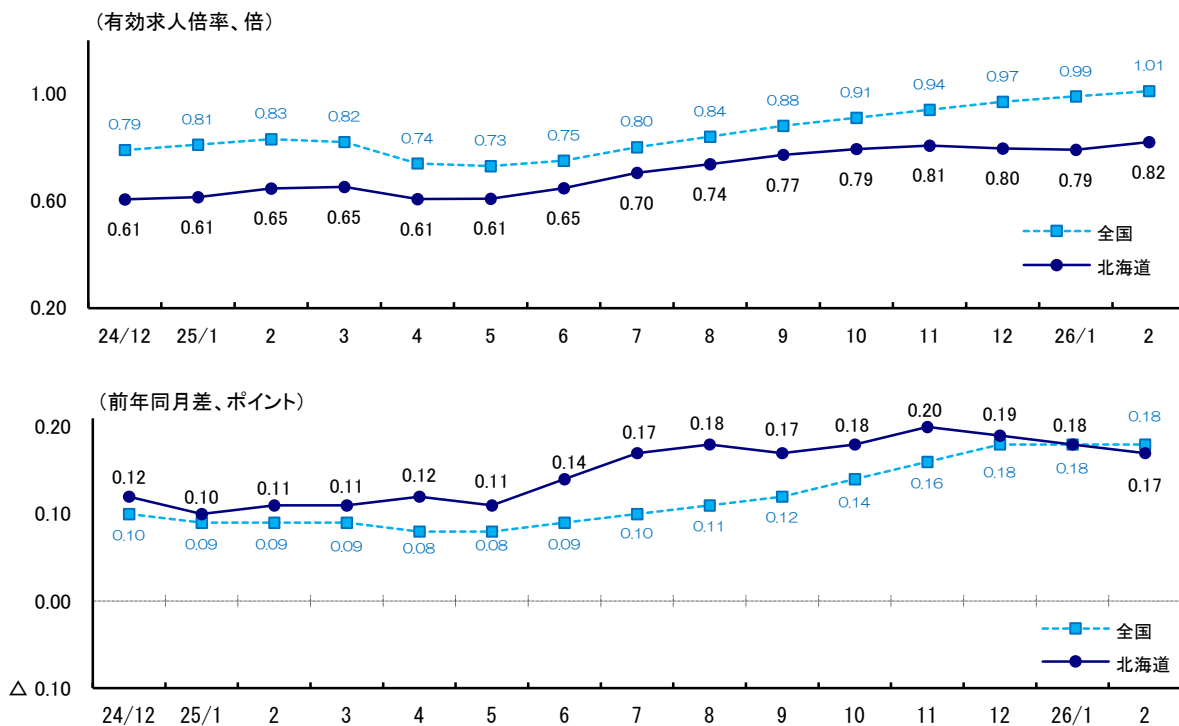
### ◆月間有効求人数・求職者数（2月）◆

月間有効求人数は7万6,455人、前年同月比13.9%増と49か月連続で前年を上回り、月間有効求職者数は9万3,351人、前年同月比10.1%減と28か月連続で前年を下回った。



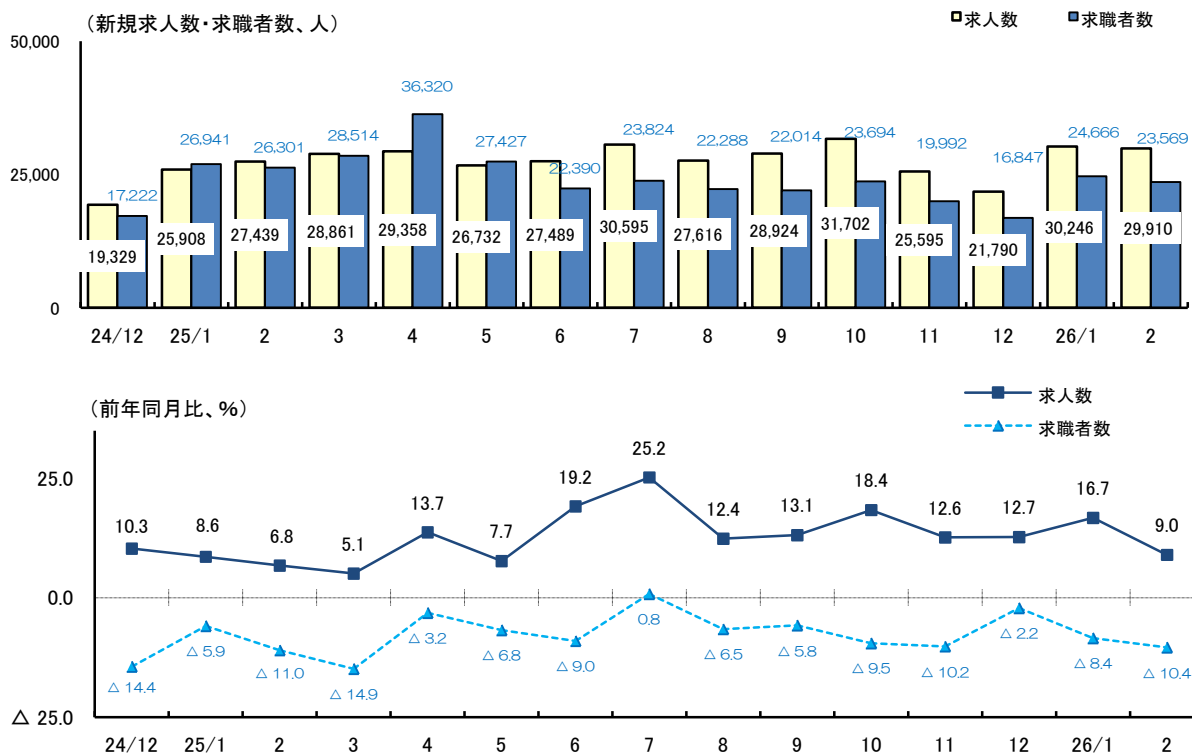
### ◆有効求人倍率（2月）◆

有効求人倍率は0.82倍、前年同月差では0.17ポイント増となり、49か月連続で前年を上回った。



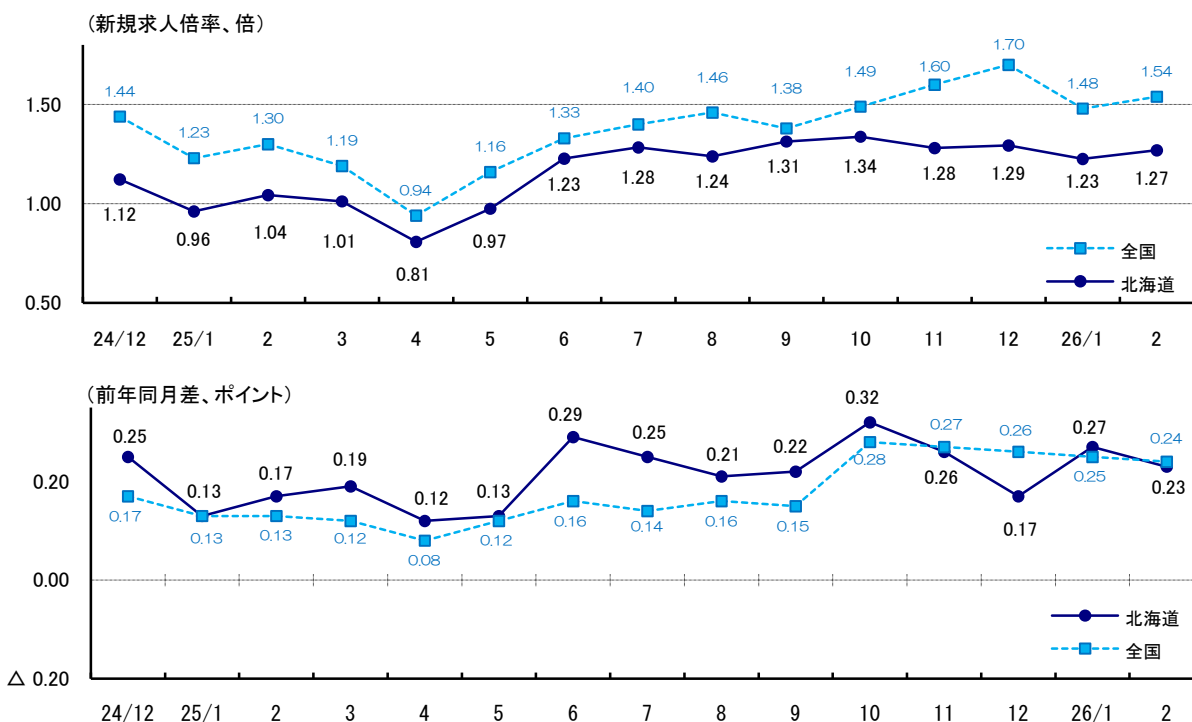
### ◆新規求人数・求職者数（2月）◆

新規求人数は2万9,910人、前年同月比9.0%増と49か月連続で前年を上回り、新規求職者数は2万3,569人、前年同月比10.4%減と7か月連続で前年を下回った。



### ◆新規求人倍率（2月）◆

新規求人倍率は1.27倍、前年同月差では0.23ポイント増となり、33か月連続で前年を上回った。

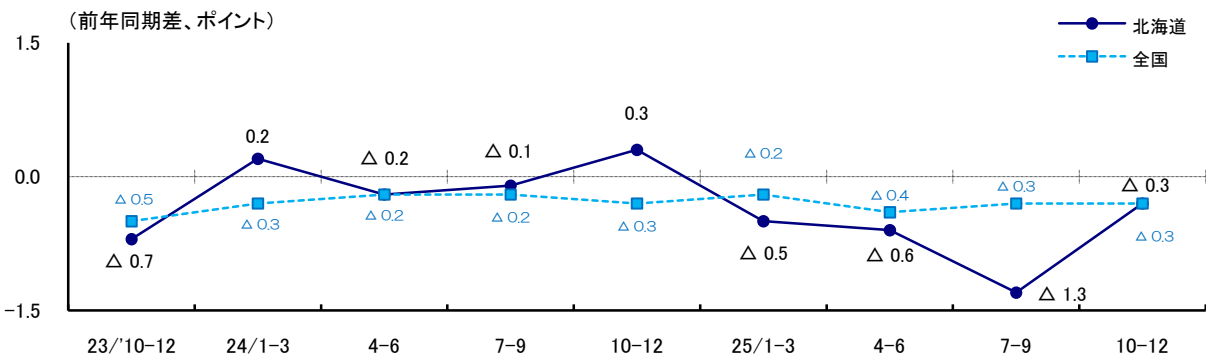
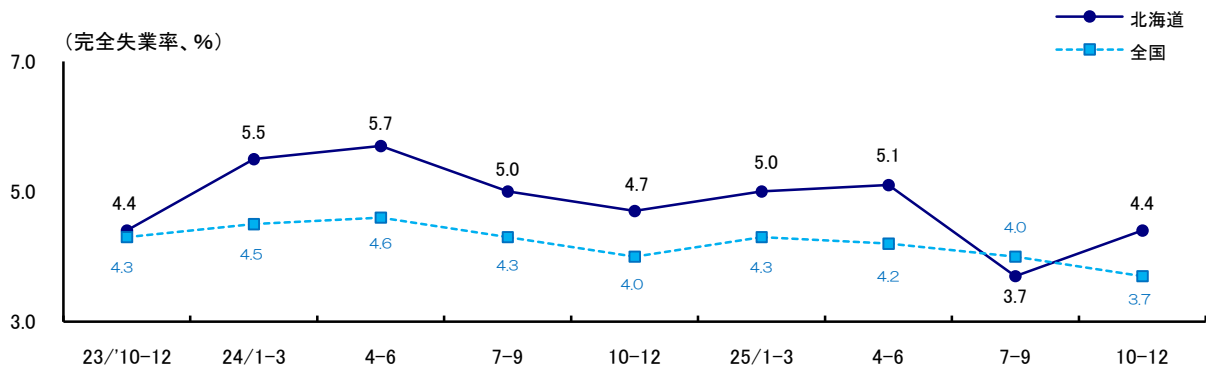
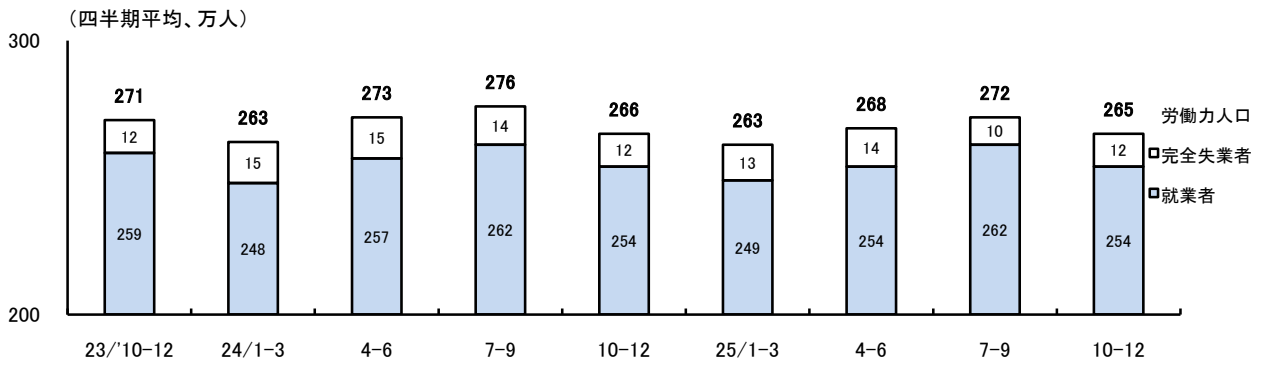


(北海道労働局、厚生労働省調べ)



◆完全失業者数、完全失業率（25年10-12月期）◆

完全失業者数は12万人と前年同期と同水準で、完全失業率は4.4%、前年同期から0.3ポイント低下した。

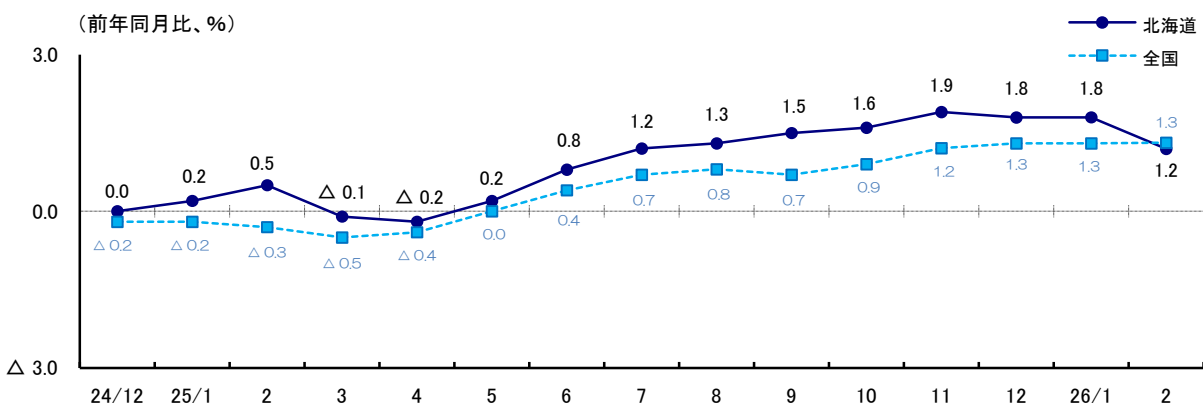
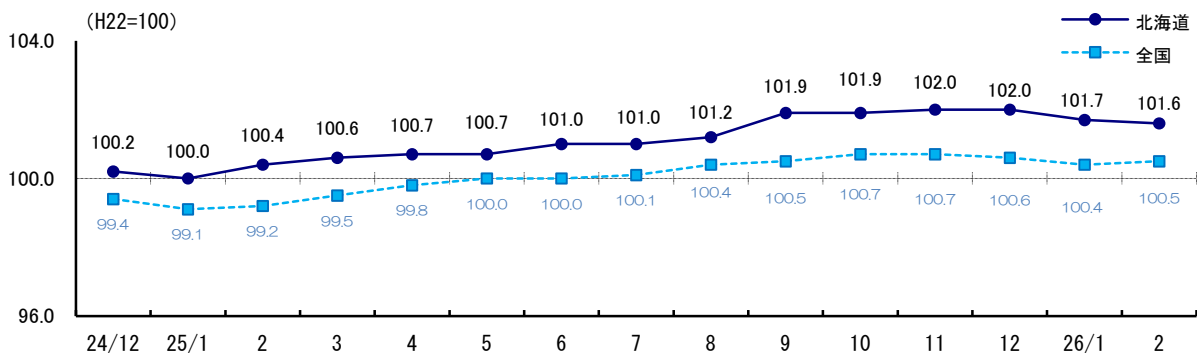


(総務省調べ)

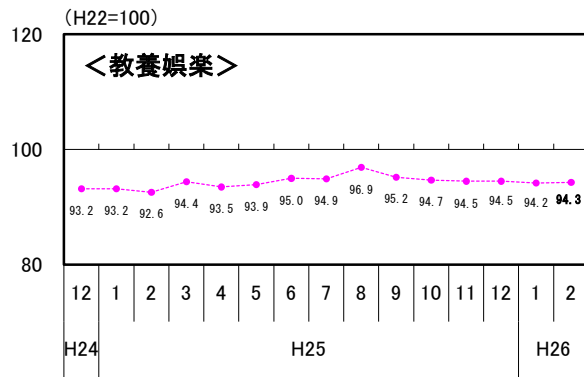
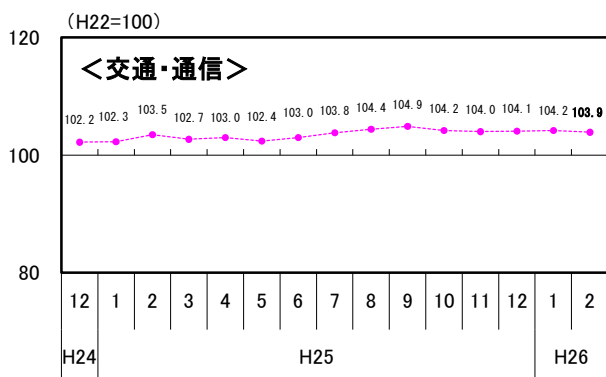
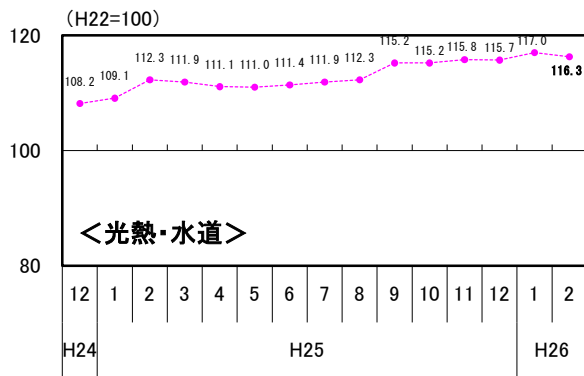
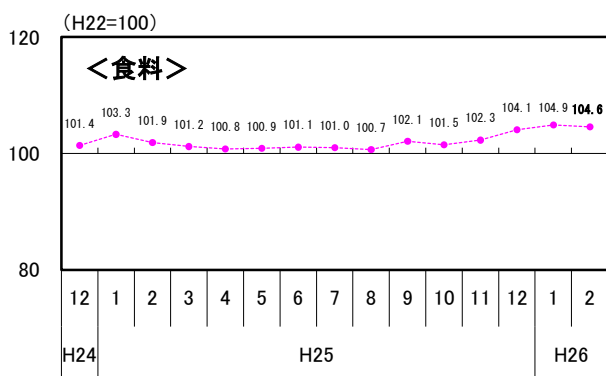
## ■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を上回った

### ◆消費者物価指数（2月）◆

生鮮食品を除く総合で101.6と、前年同月比1.2%増と10か月連続で前年を上回った。



前月からの動きを費目別でみると、教養娯楽が上昇したものの、食料、光熱・水道、交通・通信は低下した。

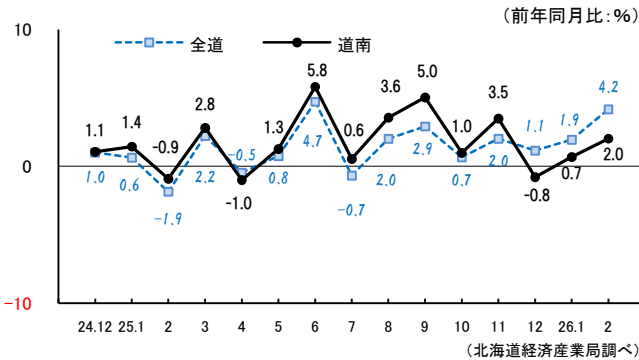


（総務省統計局調べ）

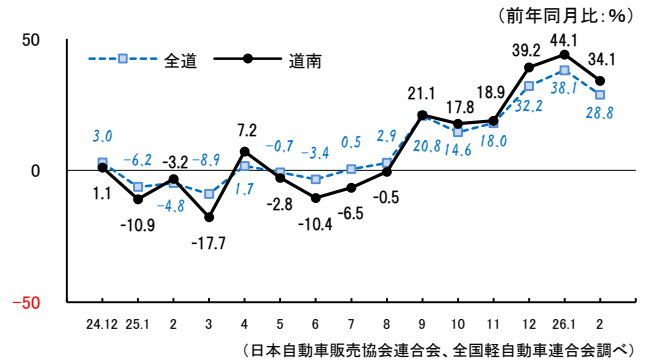
## ■ 地域の経済動向

### 道南圏

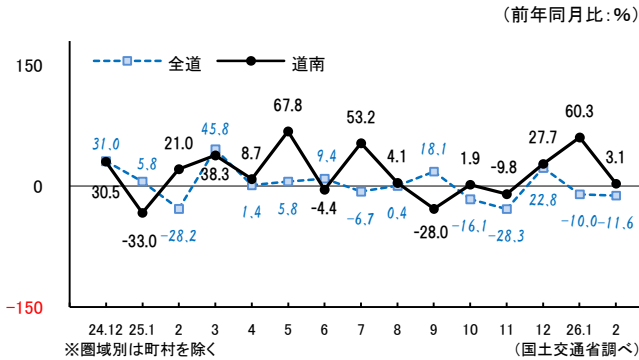
#### ◆大型小売店販売額(全店、函館市) (2月)◆ 2か月連続で前年を上回った



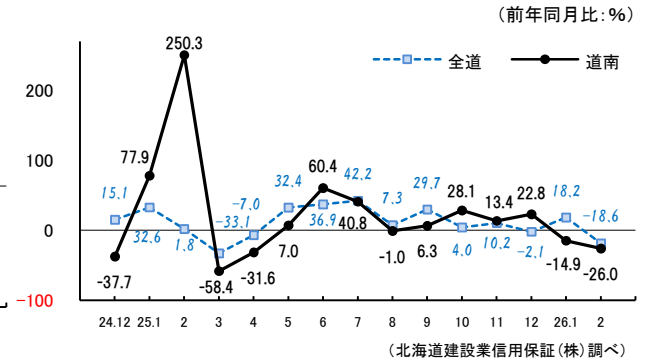
#### ◆新車登録台数(乗用車) (2月)◆ 6か月連続で前年を上回った



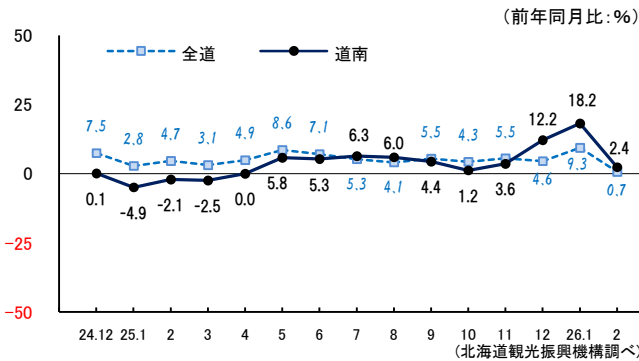
#### ◆新設住宅着工戸数 (2月)◆ 3か月連続で前年を上回った



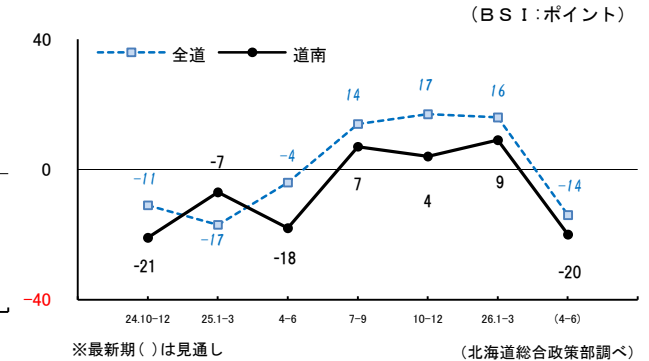
#### ◆公共工事請負金額 (2月)◆ 2か月連続で前年を下回った



#### ◆航空機利用による来道者数(着地別) (2月)◆ 10か月連続で前年を上回った

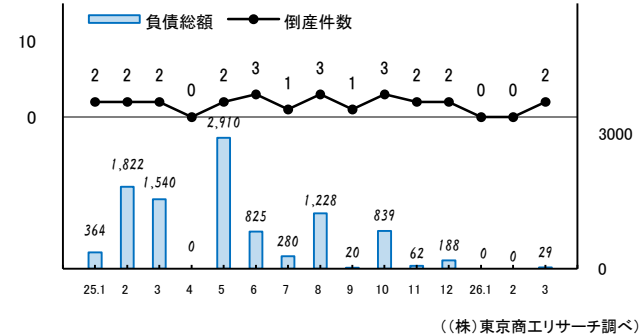


#### ◆企業の業況感 (1-3月期)◆ 前期からプラス幅が拡大した



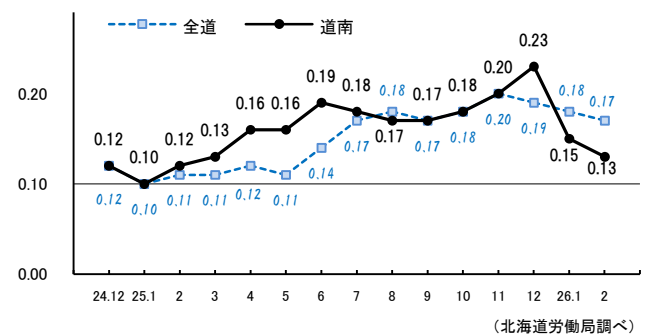
#### ◆企業倒産 (3月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率 (2月)◆

45か月連続で前年を上回った  
(前年同月差:ポイント)

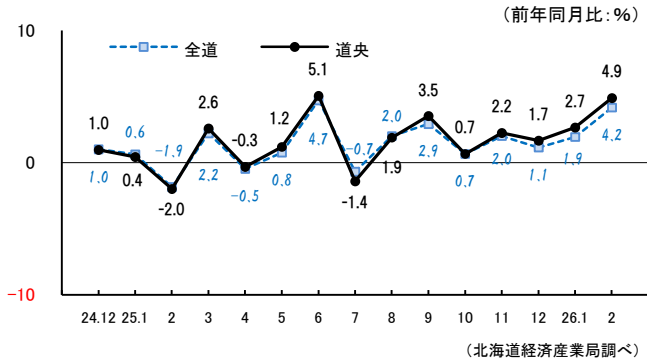


## ■ 地域の経済動向

### 道央圏

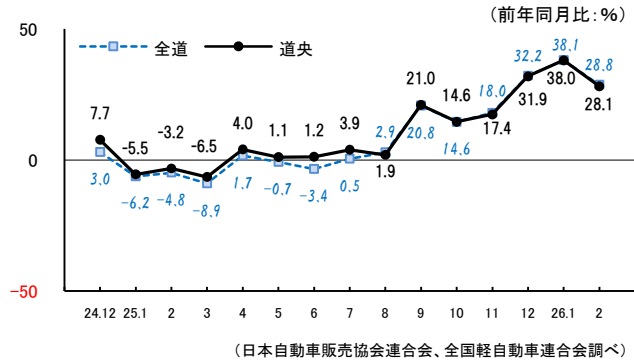
#### ◆大型小売店販売額(2月)◆

(全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)  
7か月連続で前年を上回った



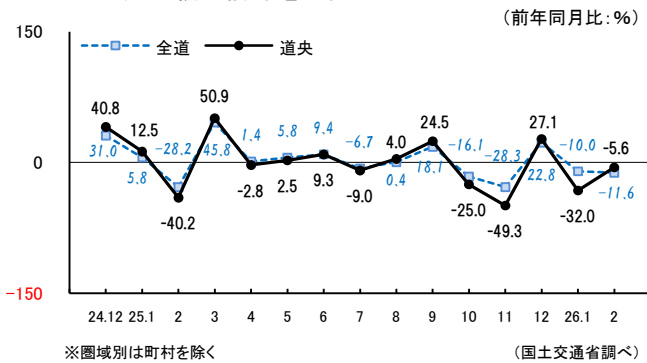
#### ◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆

11か月連続で前年を上回った



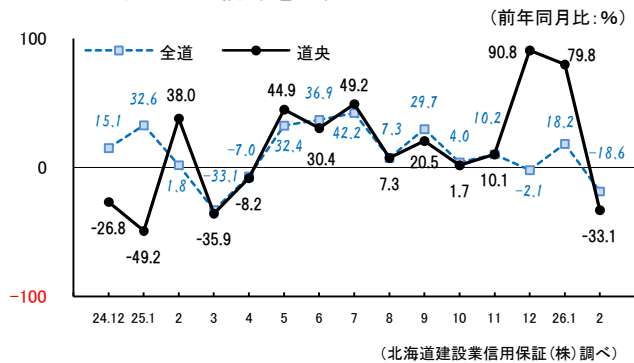
#### ◆新設住宅着工戸数(2月)◆

2か月連続で前年を下回った



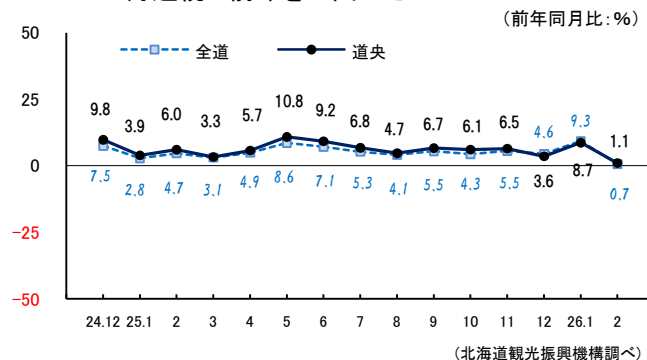
#### ◆公共工事請負金額(2月)◆

10か月ぶりに前年を下回った



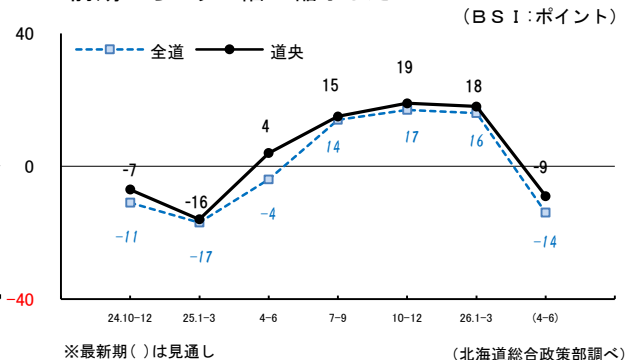
#### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆

24か月連続で前年を上回った



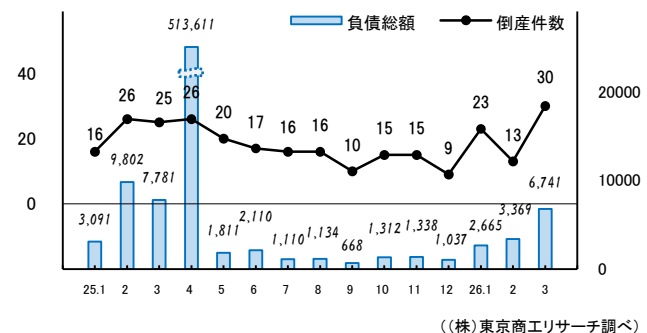
#### ◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からプラス幅が縮小した



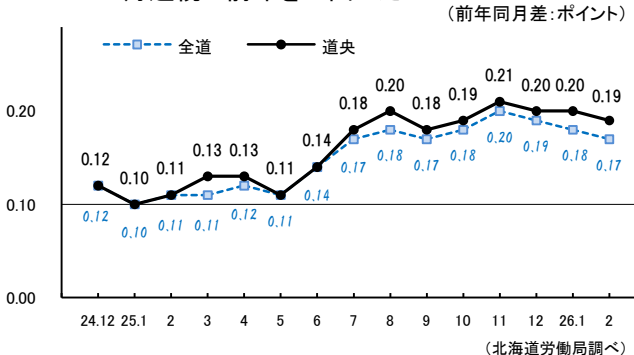
#### ◆企業倒産(3月)◆

10億円以上の大型倒産は2件発生した  
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率(2月)◆

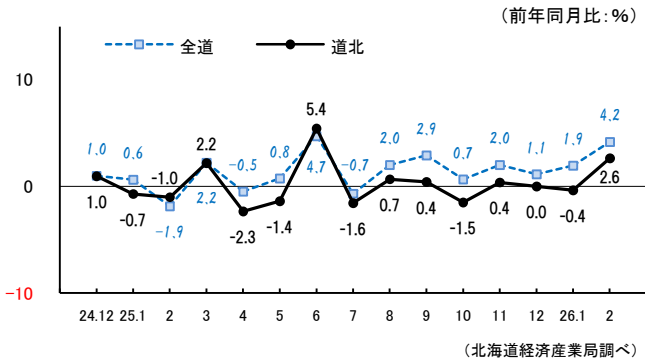
48か月連続で前年を上回った



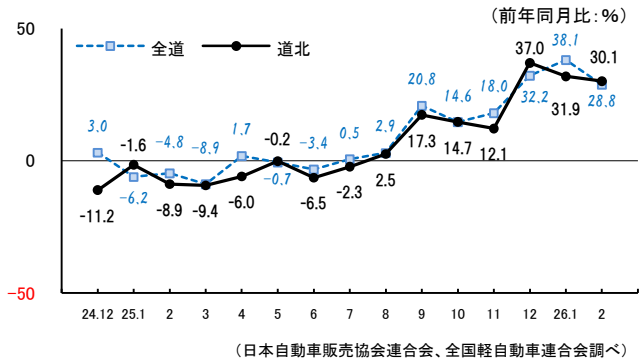
■ 地域の経済動向

道北圏

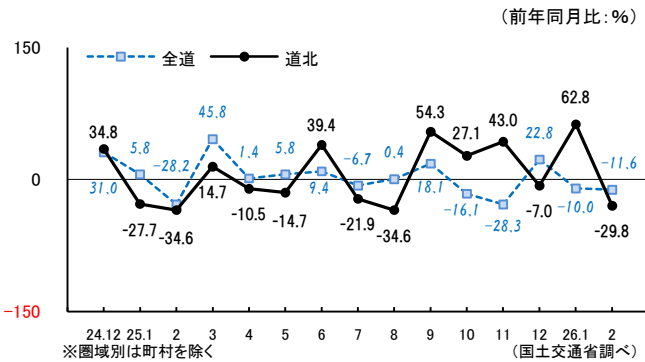
◆大型小売店販売額(全店、旭川市) (2月)◆  
3か月ぶりに前年を上回った



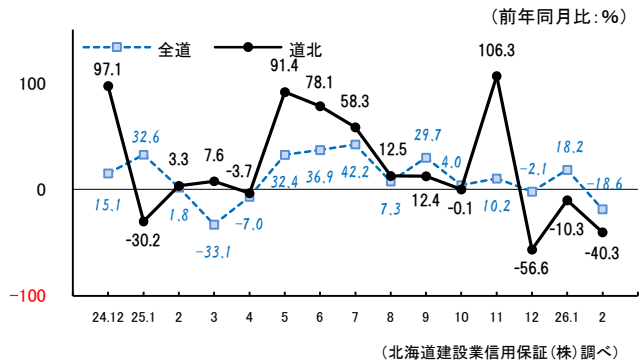
◆新車登録台数(乗用車) (2月)◆  
7か月連続で前年を上回った



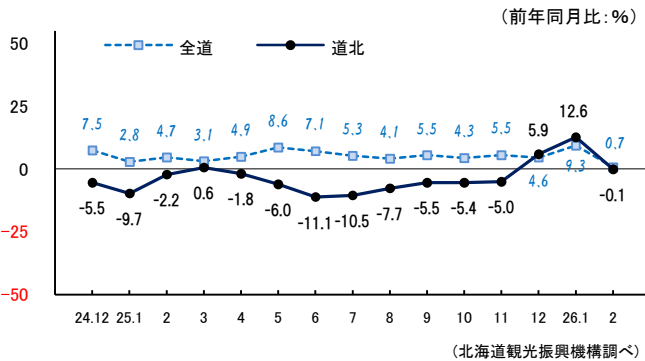
◆新設住宅着工戸数 (2月)◆  
2か月ぶりに前年を下回った



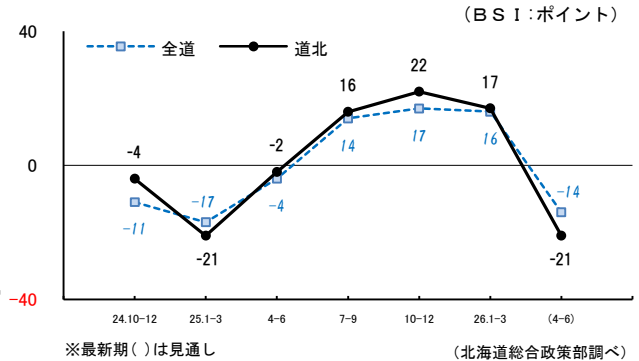
◆公共工事請負金額 (2月)◆  
3か月連続で前年を下回った



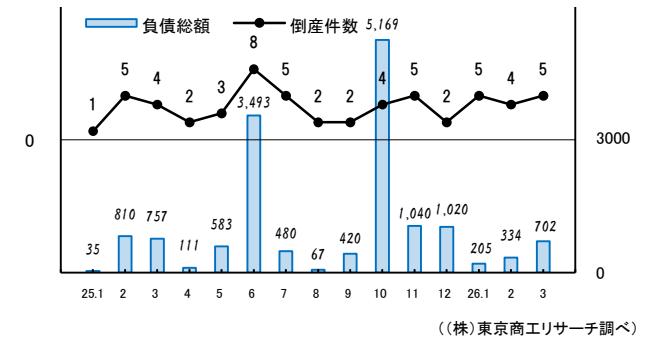
◆航空機利用による来道者数(着地別) (2月)◆  
3か月ぶりに前年を下回った



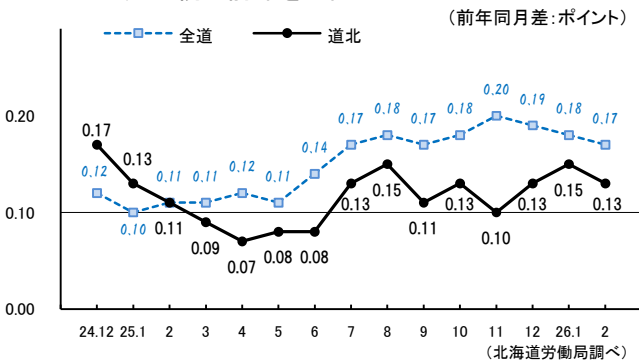
◆企業の業況感 (1-3月期)◆  
前期からプラス幅が縮小した



◆企業倒産 (3月)◆  
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率 (2月)◆  
50か月連続で前年を上回った

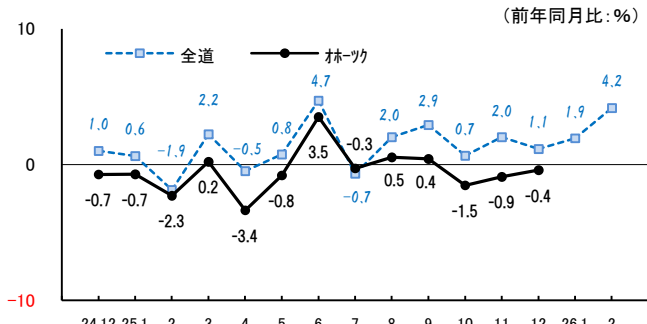


## ■ 地域の経済動向

### オホーツク圏

#### ◆主要小売店売上高(全店)(12月)◆

3か月連続で前年を下回った

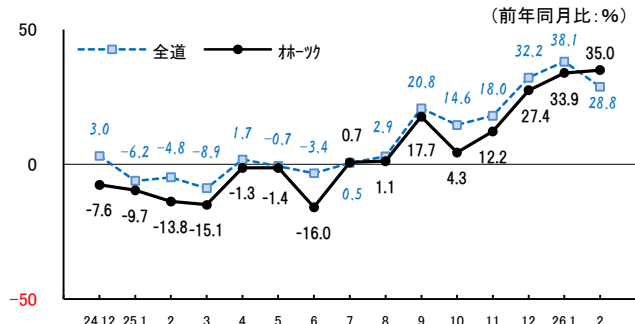


※全道は大型小売店販売額

(財務局北見出張所、北海道経済産業局調べ)

#### ◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆

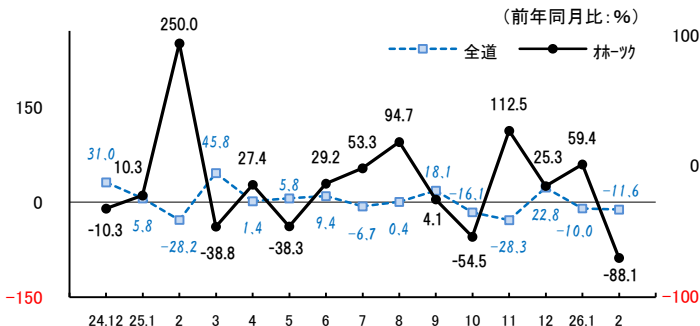
8か月連続で前年を上回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

#### ◆新設住宅着工戸数(2月)◆

4か月ぶりに前年を下回った

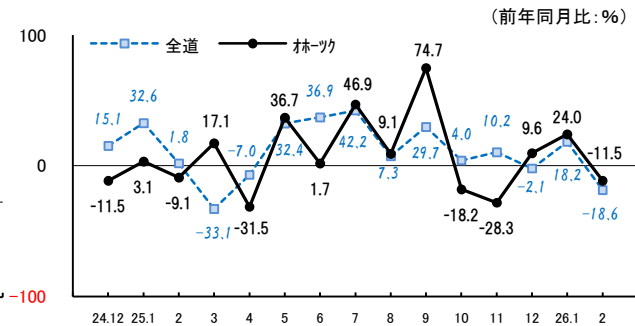


※圏域別は町村を除く

(国土交通省調べ)

#### ◆公共工事請負金額(2月)◆

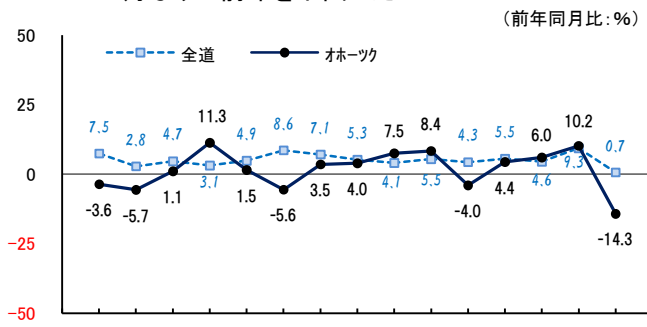
3か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

#### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆

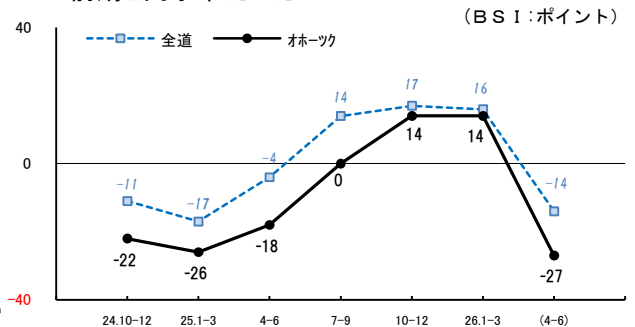
4か月ぶりに前年を下回った



(北海道観光振興機構調べ)

#### ◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期と同水準だった



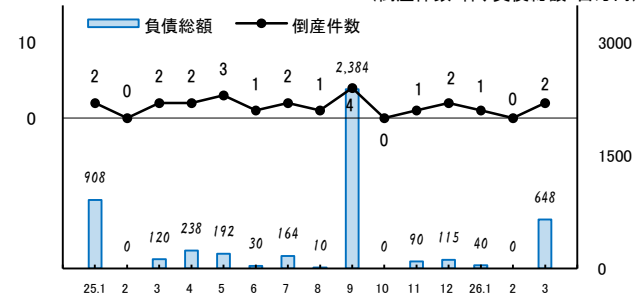
※最新期( )は見通し

(北海道総合政策部調べ)

#### ◆企業倒産(3月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

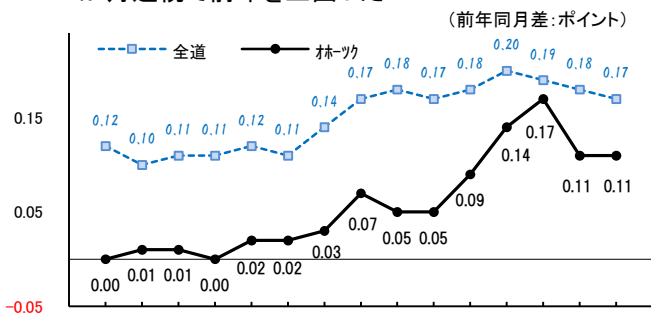
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商エリサーチ調べ)

#### ◆有効求人倍率(2月)◆

11か月連続で前年を上回った

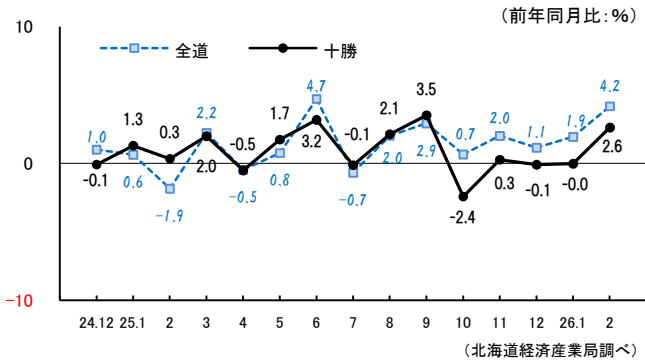


(北海道労働局調べ)

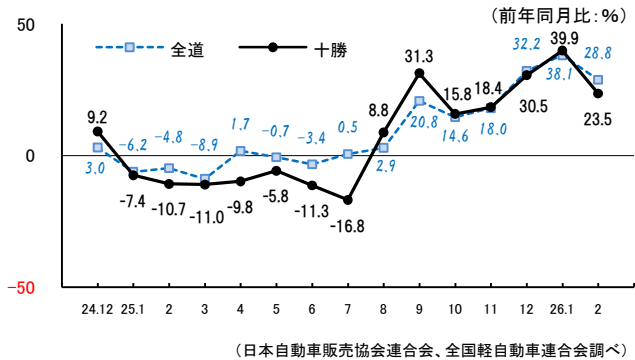
■ 地域の経済動向

十勝圏

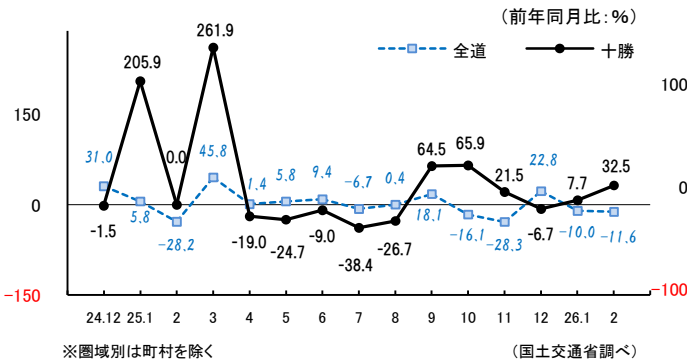
◆大型小売店販売額(全店、帯広市) (2月)◆  
3か月ぶりに前年を上回った



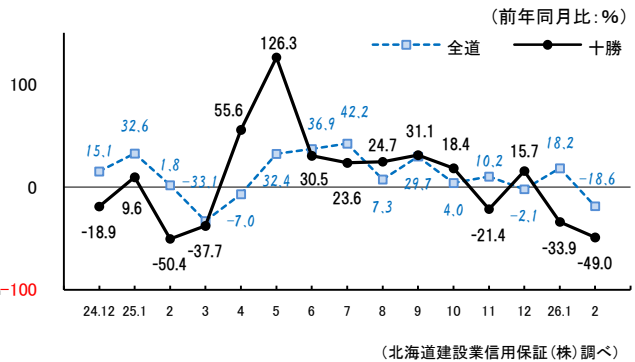
◆新車登録台数(乗用車) (2月)◆  
7か月連続で前年を上回った



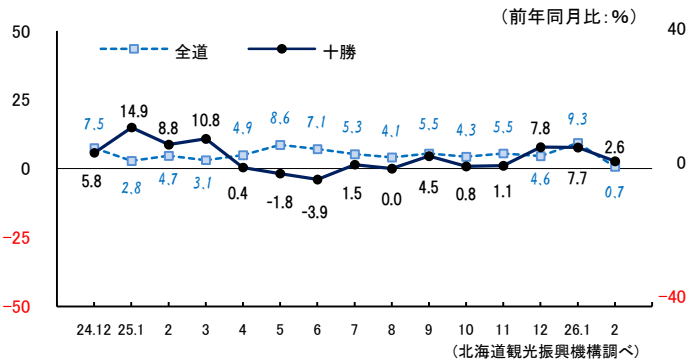
◆新設住宅着工戸数 (2月)◆  
2か月連続で前年を上回った



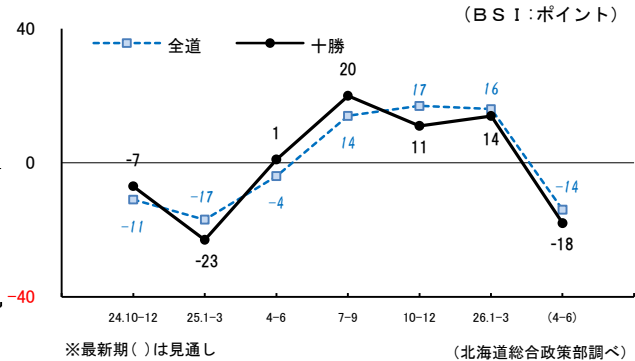
◆公共工事請負金額 (2月)◆  
2か月連続で前年を下回った



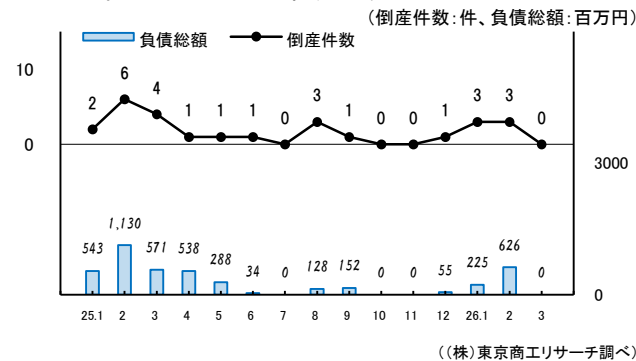
◆航空機利用による来道者数(着地別) (2月)◆  
6か月連続で前年を上回った



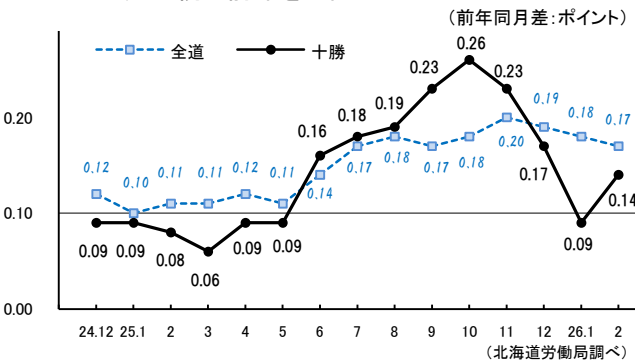
◆企業の業況感 (1-3月期)◆  
前期からプラス幅が拡大した



◆企業倒産 (3月)◆  
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率 (2月)◆  
28か月連続で前年を上回った

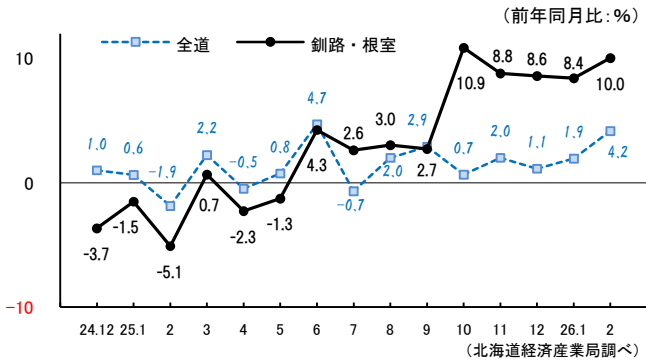


## ■ 地域の経済動向

### 釧路・根室圏

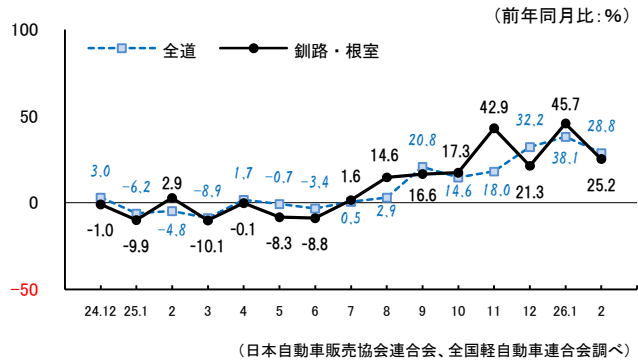
#### ◆大型小売店販売額(全店、釧路市) (2月)◆

9か月連続で前年を上回った



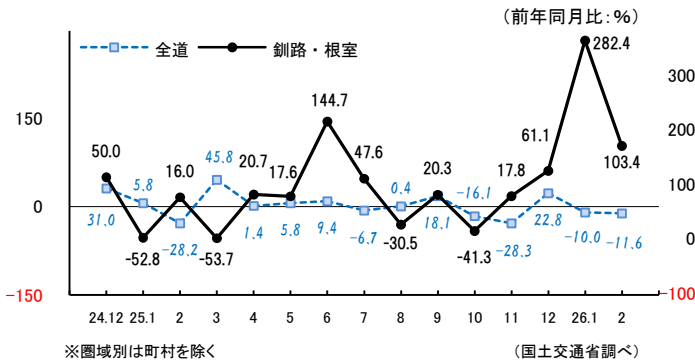
#### ◆新車登録台数(乗用車) (2月)◆

8か月連続で前年を上回った



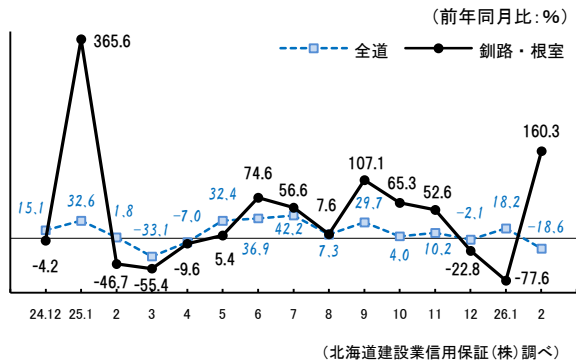
#### ◆新設住宅着工戸数 (2月)◆

4か月連続で前年を上回った



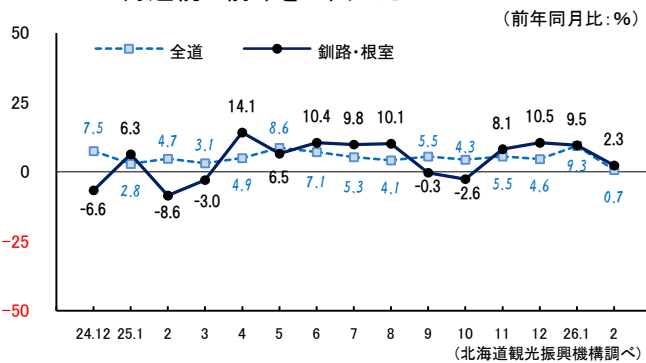
#### ◆公共工事請負金額 (2月)◆

3か月ぶりに前年を上回った



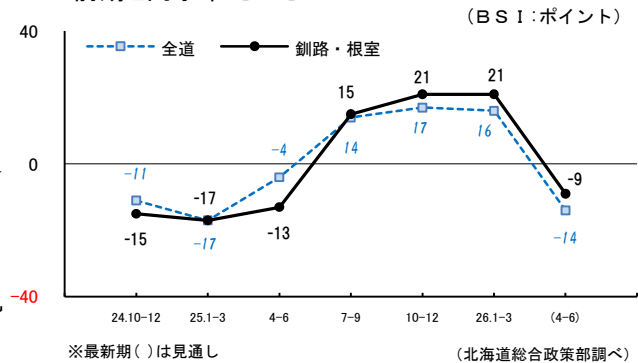
#### ◆航空機利用による来道者数(着地別) (2月)◆

4か月連続で前年を上回った



#### ◆企業の業況感 (1-3月期)◆

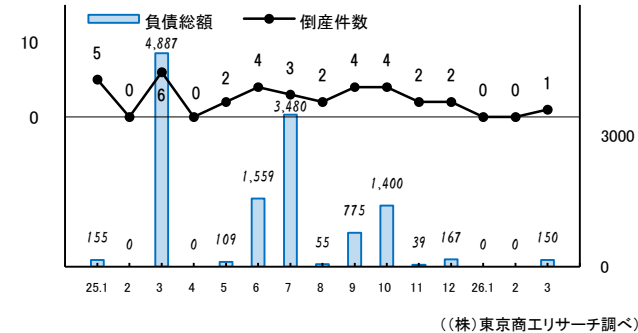
前期と同水準だった



#### ◆企業倒産 (3月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

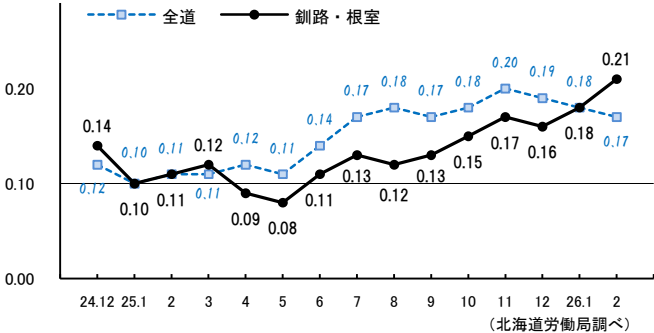
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



#### ◆有効求人倍率 (2月)◆

51か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)





## ■全国の景気

～景気は、緩やかに回復基調が続いているが、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きもみられる。～

＜内閣府月例経済報告(平成26.4.17)から＞

### 我が国経済の基調判断

- ・個人消費は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きとなっている。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、横ばいとなっている。
- ・生産は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、おおむね横ばいとなっている。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、幅広く改善している。ただし、先行きに慎重な見方となっている。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、当面、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、各種政策の効果が発現するなかで、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

### 政策の基本的態度

政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの早期脱却と経済再生の実現に向けて全力で取り組む。このため、「経済財政運営と改革の基本方針」に基づき経済財政運営を進めるとともに、「日本再興戦略」の実行を加速化し、強化する。また、経済の好循環の実現に向け、「好循環実現のための経済対策」を含めた経済政策パッケージを着実に実行するとともに、平成26年度予算の早期実施に努める。

日本銀行には、2%の物価安定目標をできるだけ早期に実現することを期待する。

### 各論

- ・個人消費は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きとなっている。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、横ばいとなっている。輸入は、このところ増勢が鈍化している。貿易・サービス収支の赤字は、増加傾向にある。
- ・生産は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響もあって、おおむね横ばいとなっている。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、幅広く改善している。ただし、先行きに慎重な見方となっている。倒産件数は、緩やかに減少している。
- ・住宅建設は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により、減少している。
- ・公共投資は、底堅く推移している。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・国内企業物価は、横ばいとなっている。消費者物価は、緩やかに上昇している。
- ・株価(日経平均株価)は、14,400円台から15,000円台まで上昇した後、13,900円台まで下落した。対米ドル円レートは、101円台から103円台まで円安方向へ推移した後、101円台まで円高方向へ推移した。

**最近の経済動向**  
平成26年4月号

---

**編集・発行 北海道経済部経済企画室参事(経済調査)**

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>